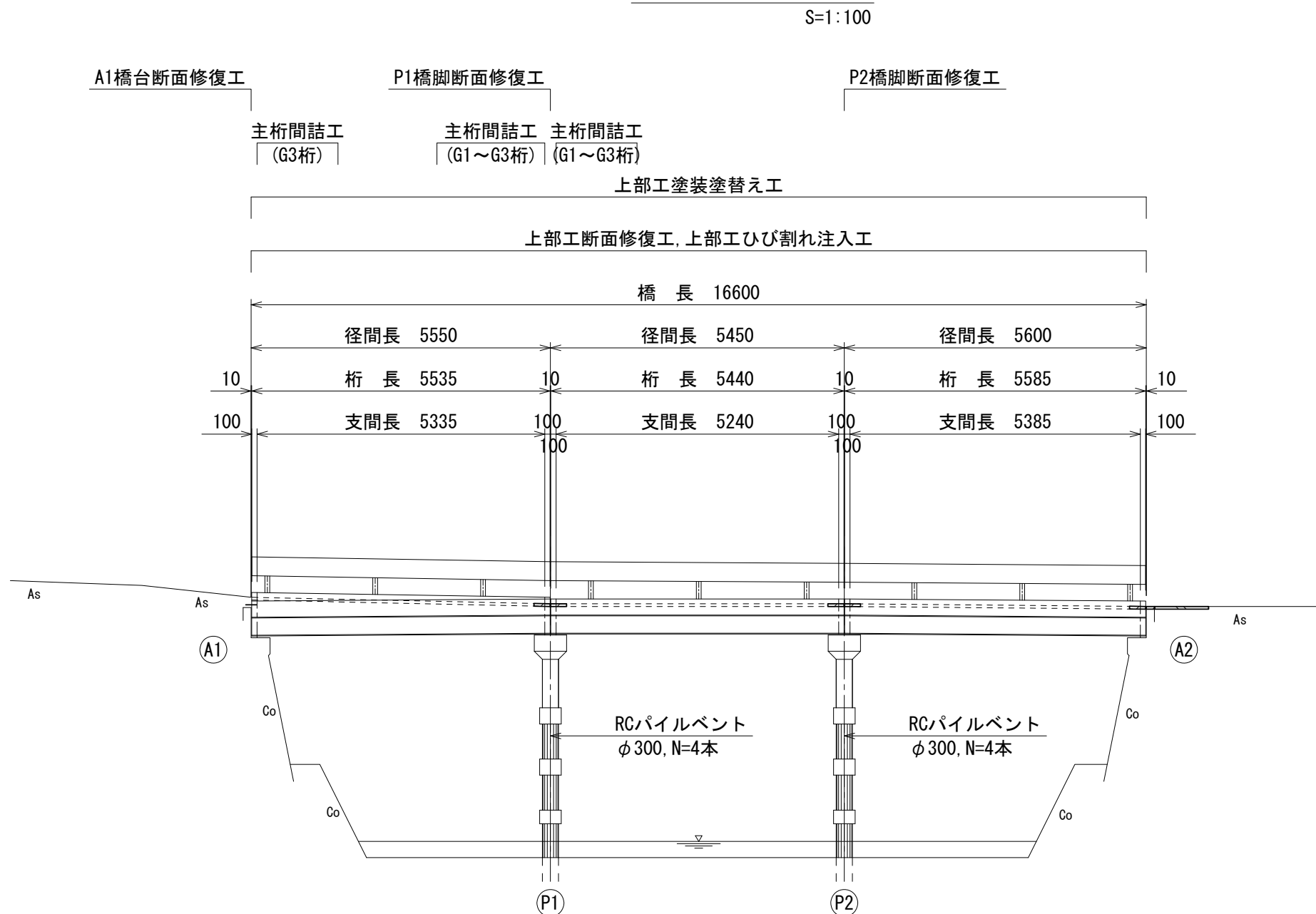
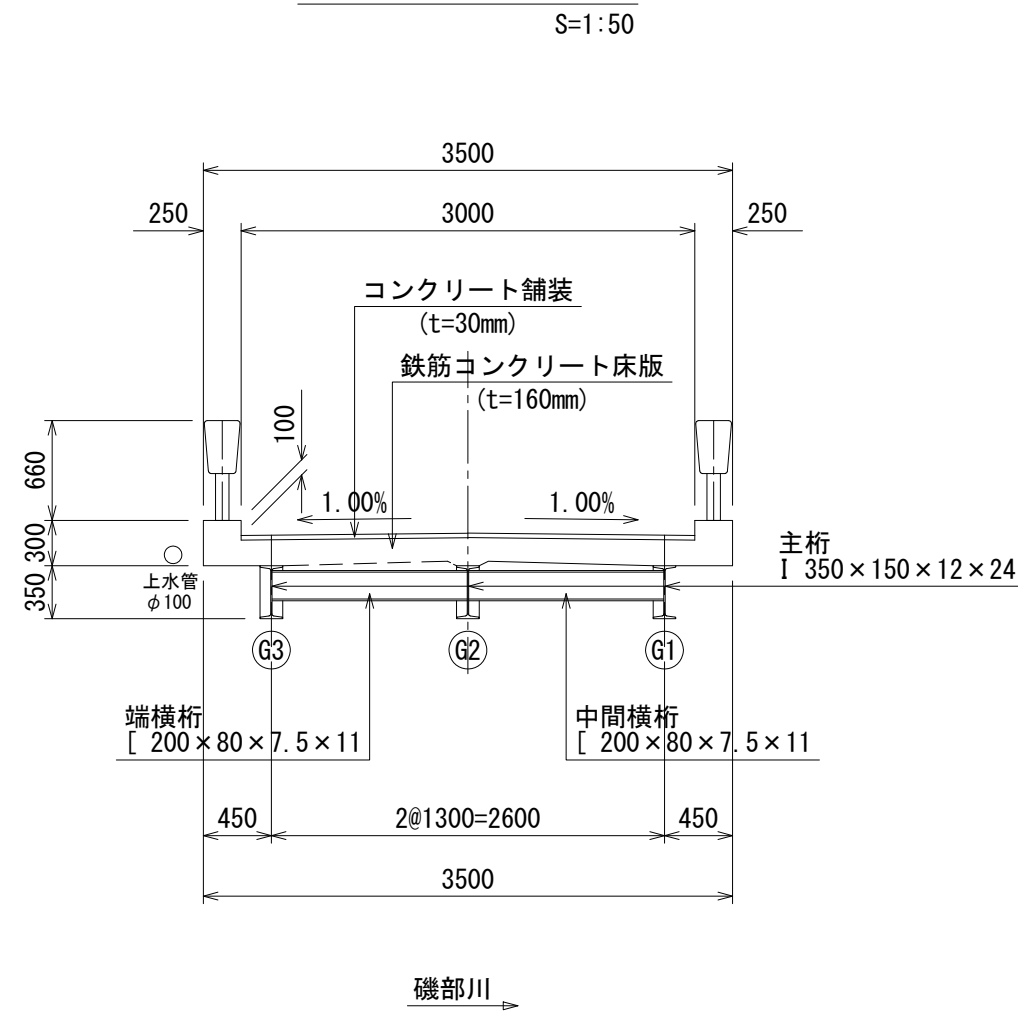


頂間寺橋 修繕工一般図

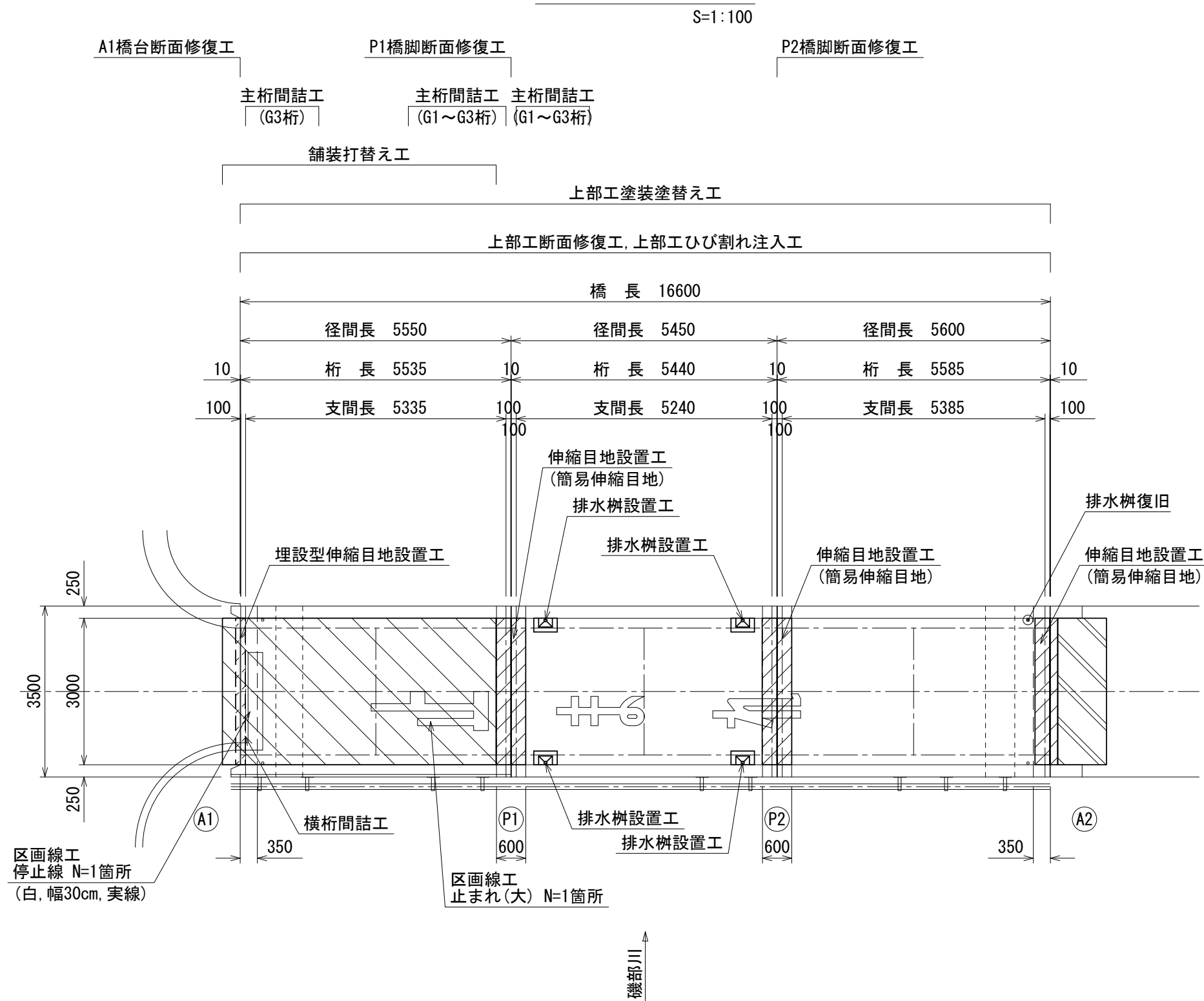
側 面 図



断 面 図



平 面 図



設計条件

上 部 工	橋 格	-
	上部工形式	3径間単純鋼 I 桁
	橋 長	16.600m
	径 間 長	5.550m + 5.450m + 5.600m
	桁 長	5.535m + 5.440m + 5.585m
	支 間 長	5.335m + 5.240m + 5.385m
	全 幅 員	3.500m
	有効幅員	3.000m
	斜 角	90° 00'
	床 版	鉄筋コンクリート床版 t=160mm
下 部 工	舗 装	コンクリート舗装 t=30mm
	支 承	-
	橋 台	重 力 式
基 礎	橋 脚	RCバイルベント φ300
	基礎	-

注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3)：各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】

工 事 名	令和2年度 第2A1磯002号 道路メンテナンス事業 頂間寺橋 橋梁修繕工事			
図 面 名	修 繕 工 一 般 図			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	10	1 葉之内
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

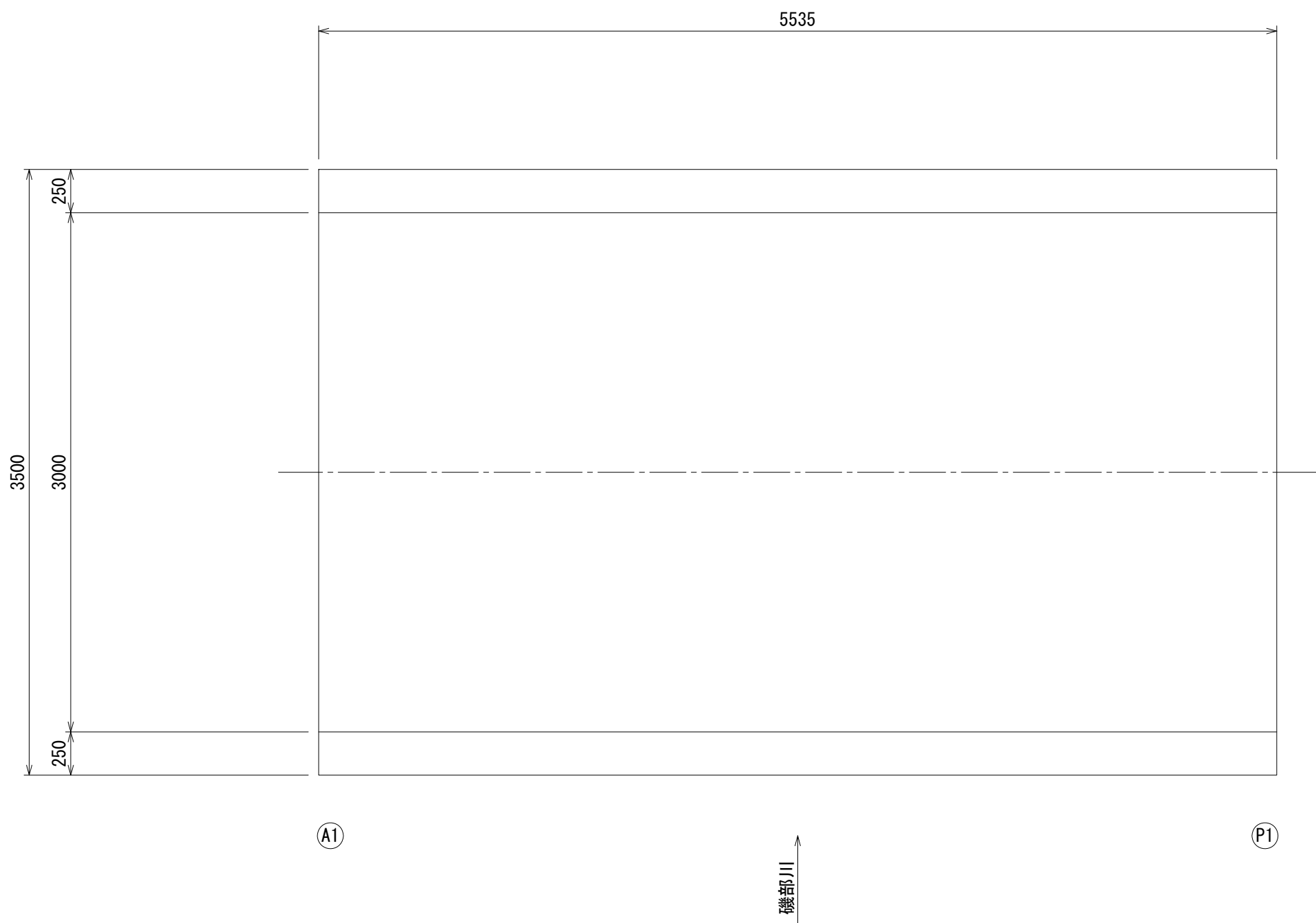
修繕工詳細図(1)

平面図

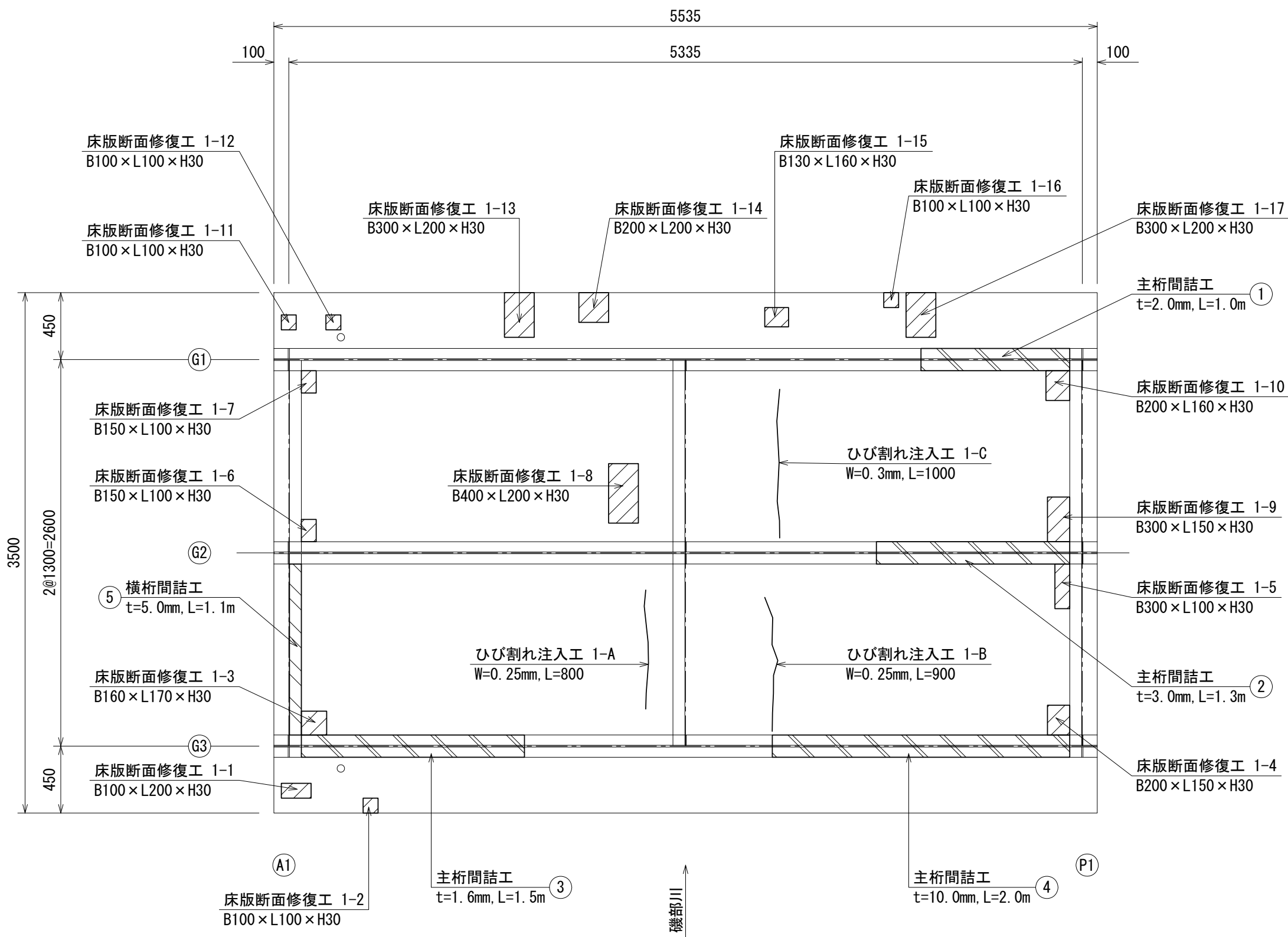
S=1:30

第1径間

上 面

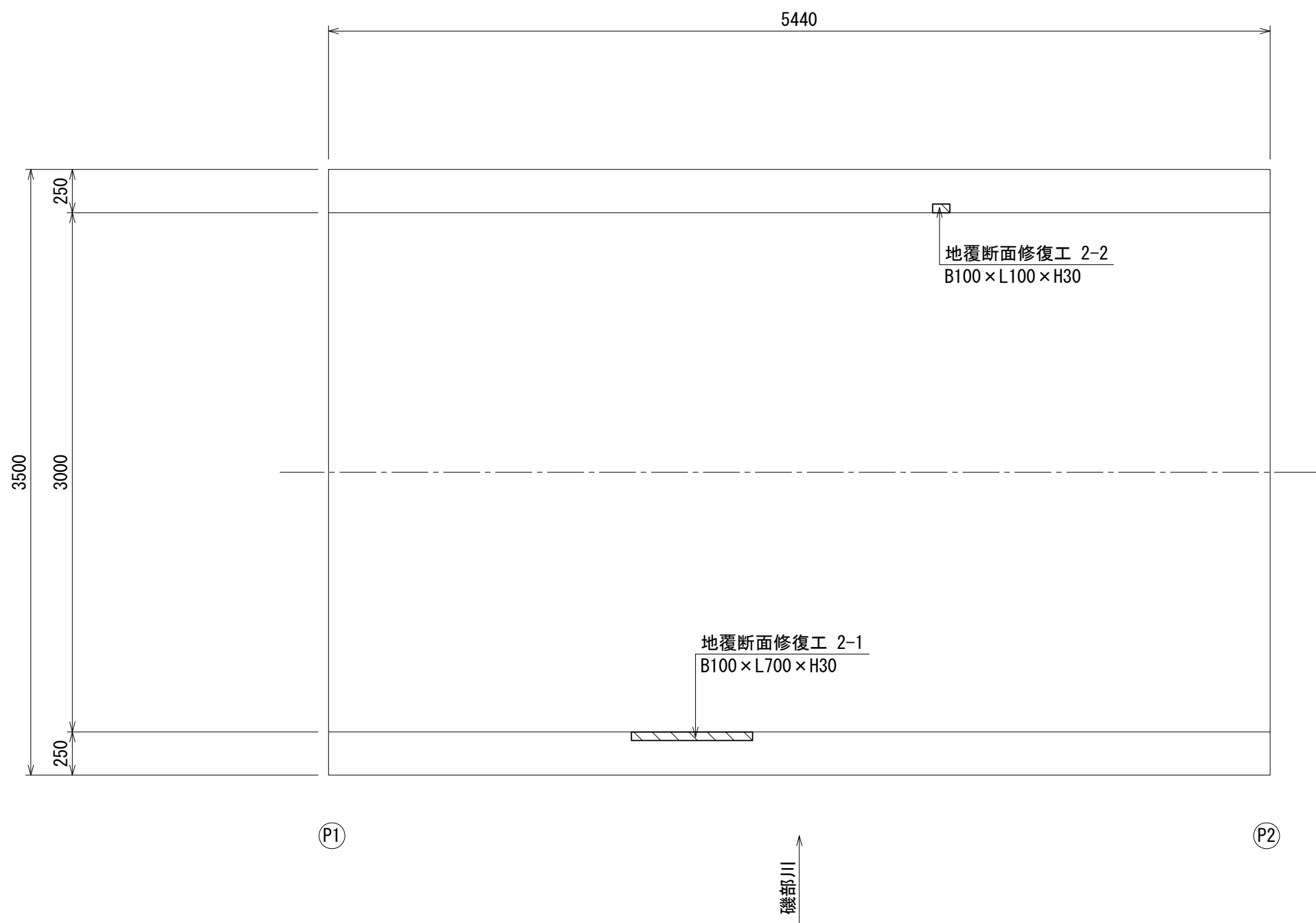


下 面

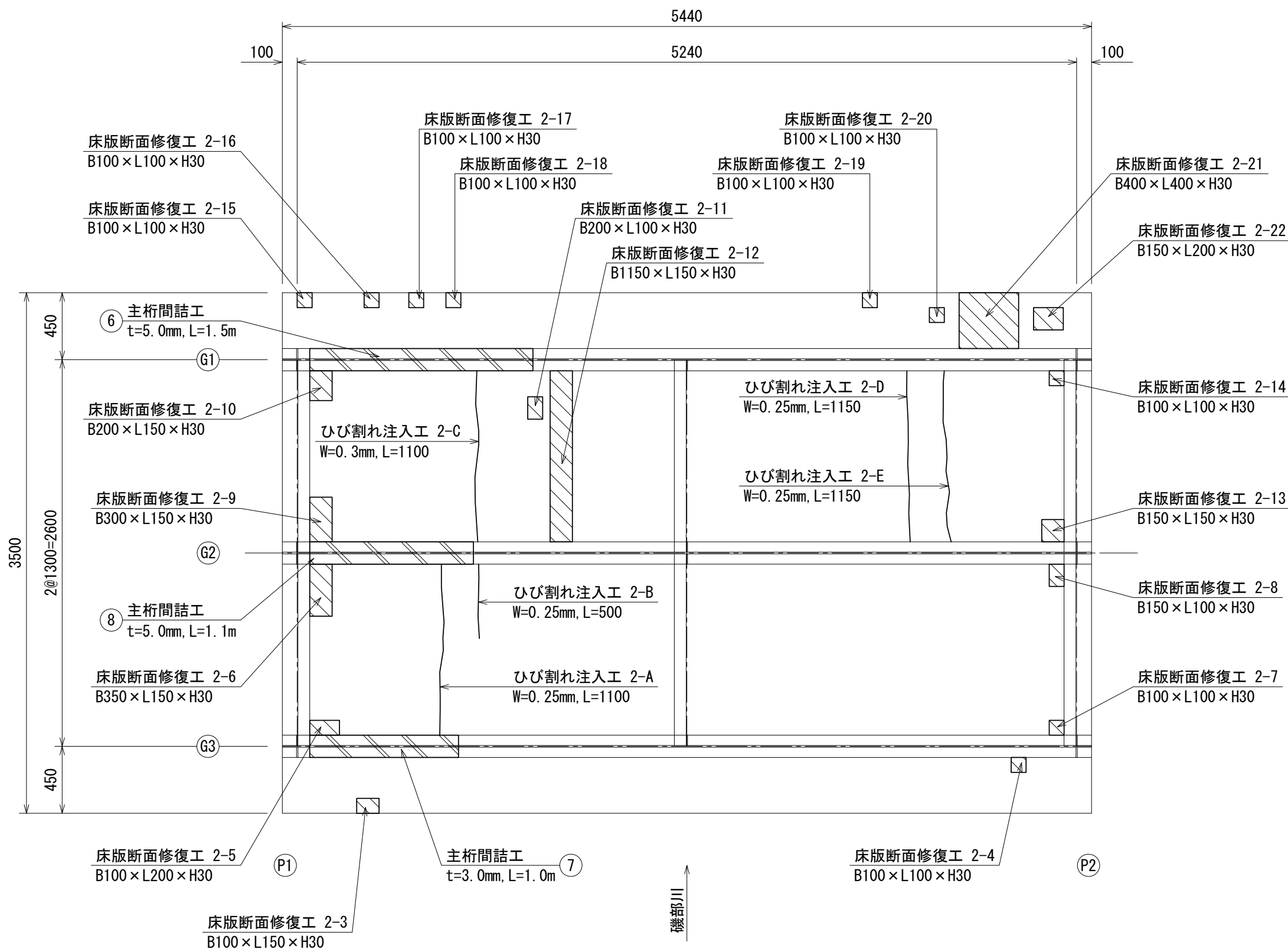


第2径間

上 面



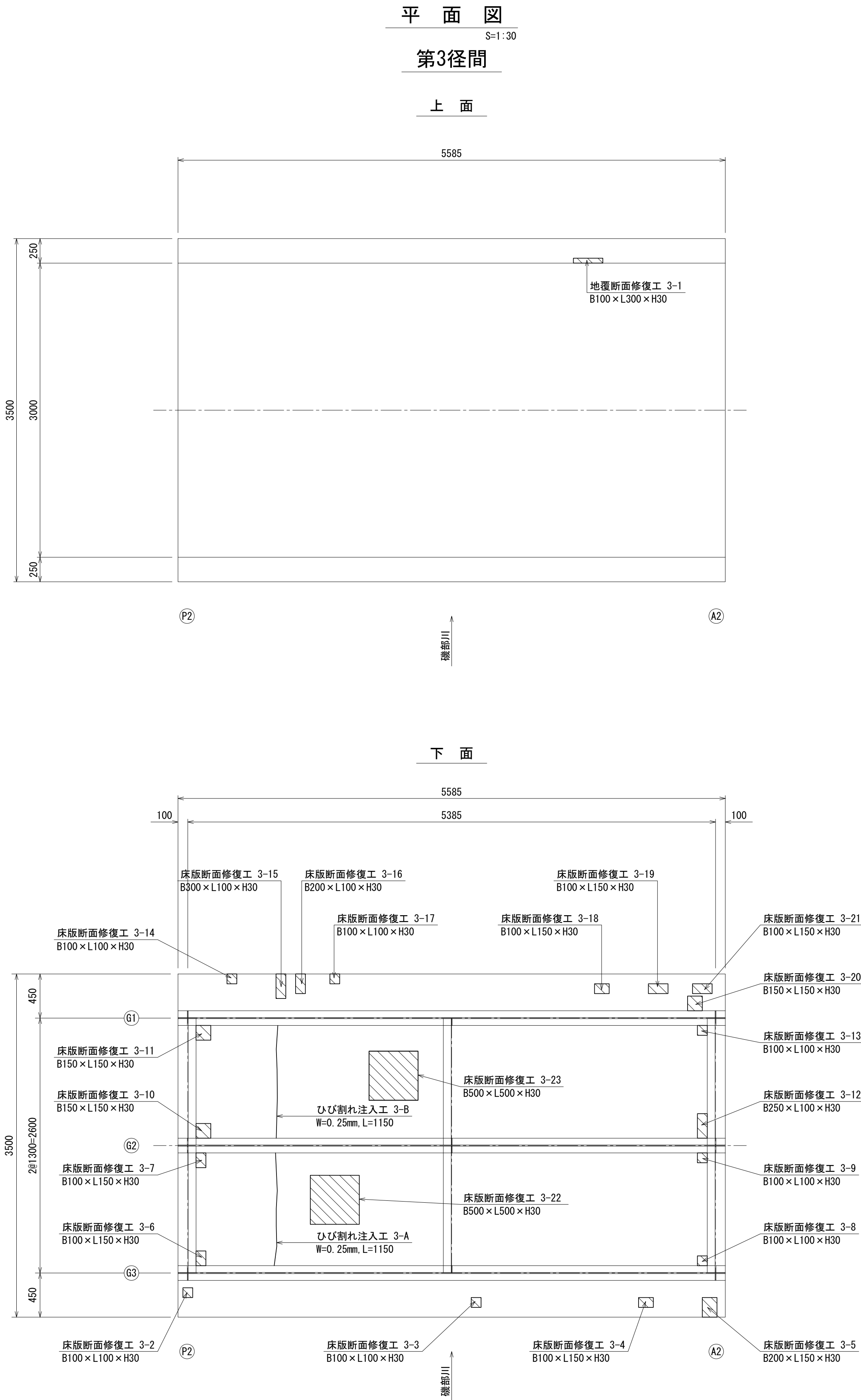
下 面



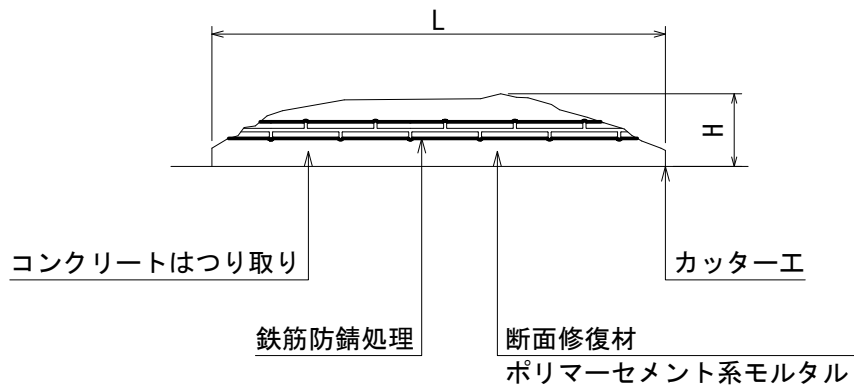
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】				
工事名	令和2年度 第2A1種002号 道路メンテナンス事業			
図面名	頂間寺橋 橋梁修繕工事			
年月日	修繕工詳細図(1)			
尺度	図示	図面番号	10	2 葉之内
会社名				
事務所名	志 摩 市			

修繕工詳細図(2)

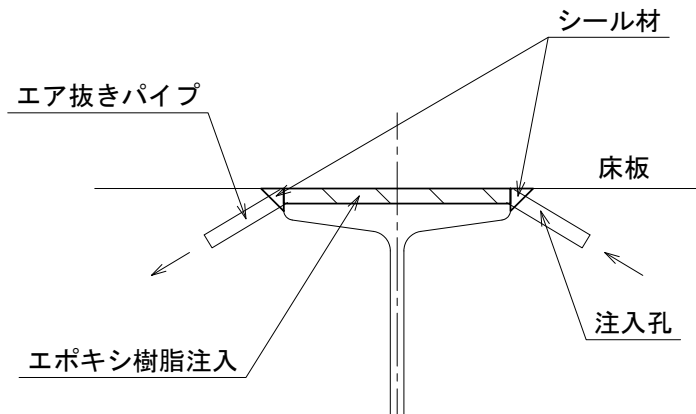


断面修復工詳細図



- ※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
- ※ 鉄筋防錆処理について
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

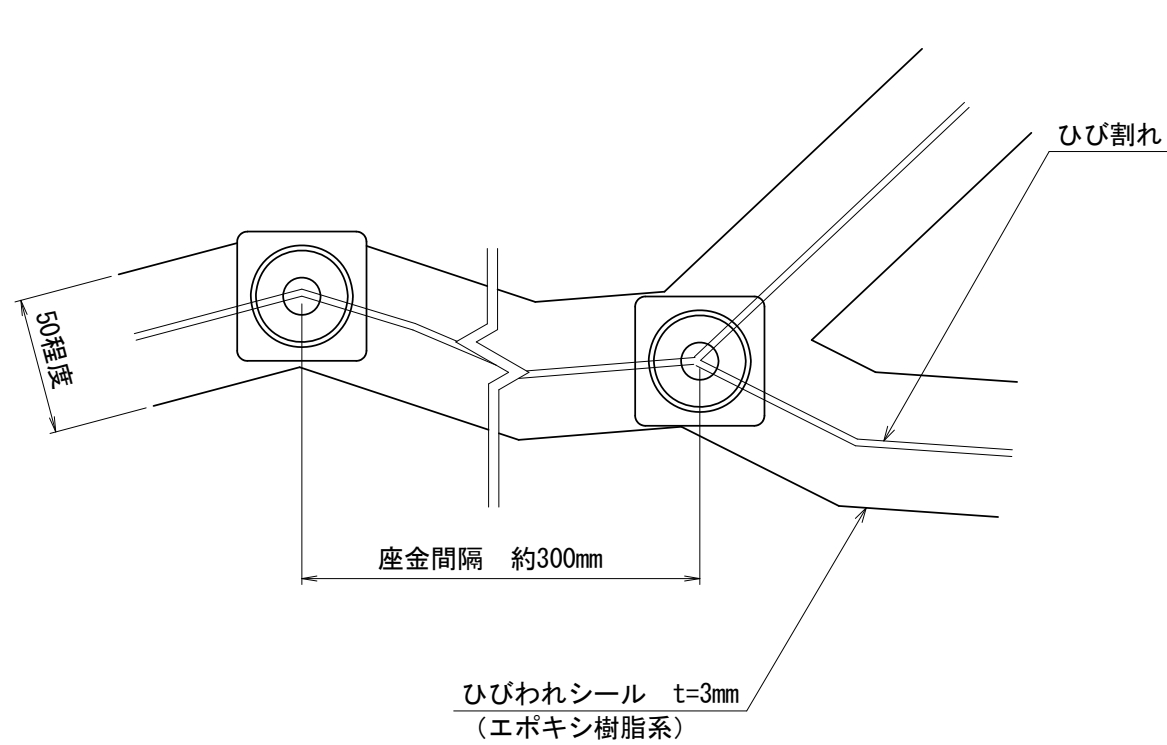
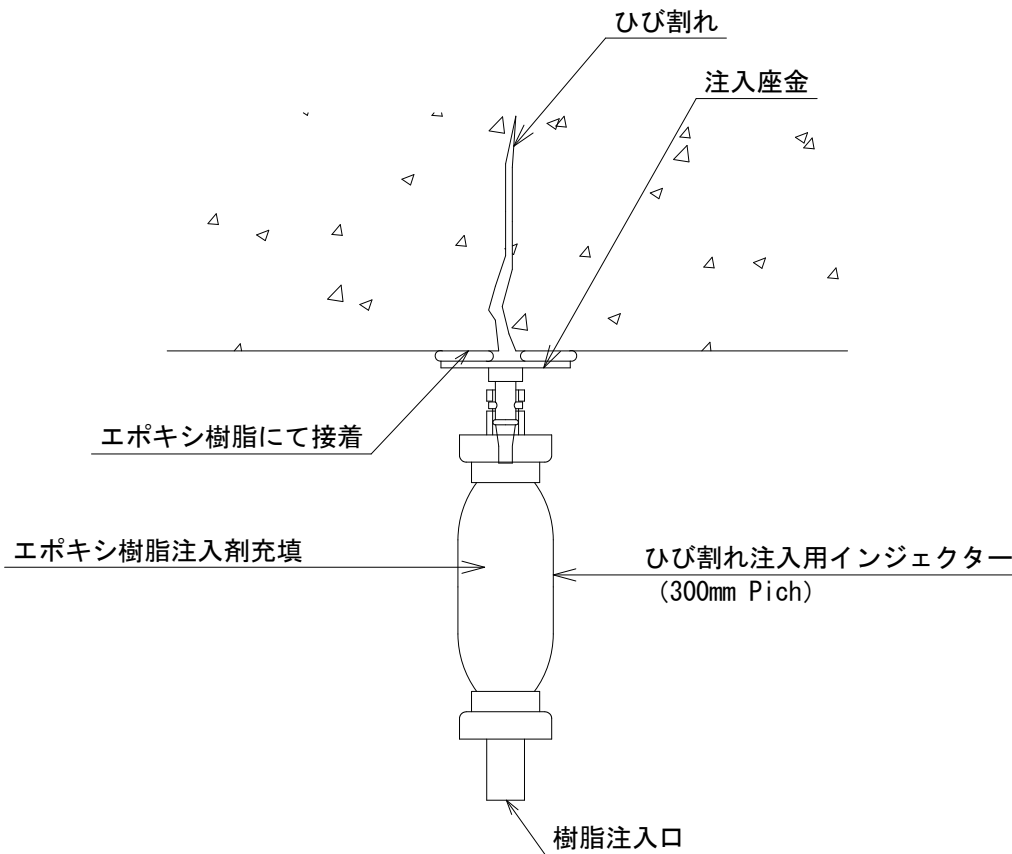
主桁横桁間詰工詳細図



※両端にシール後、注入を行うこと。

ひび割れ注入工詳細図

(ひび割れ注入)

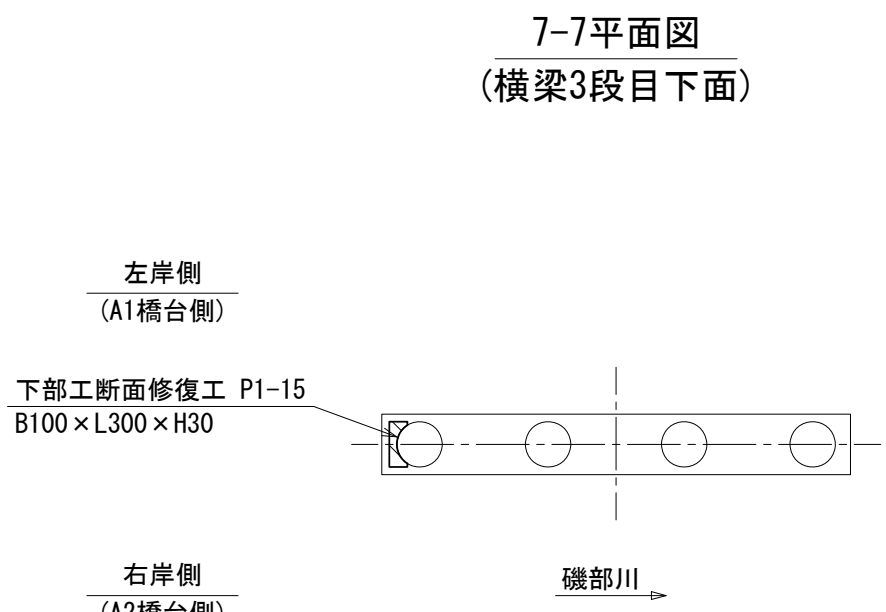
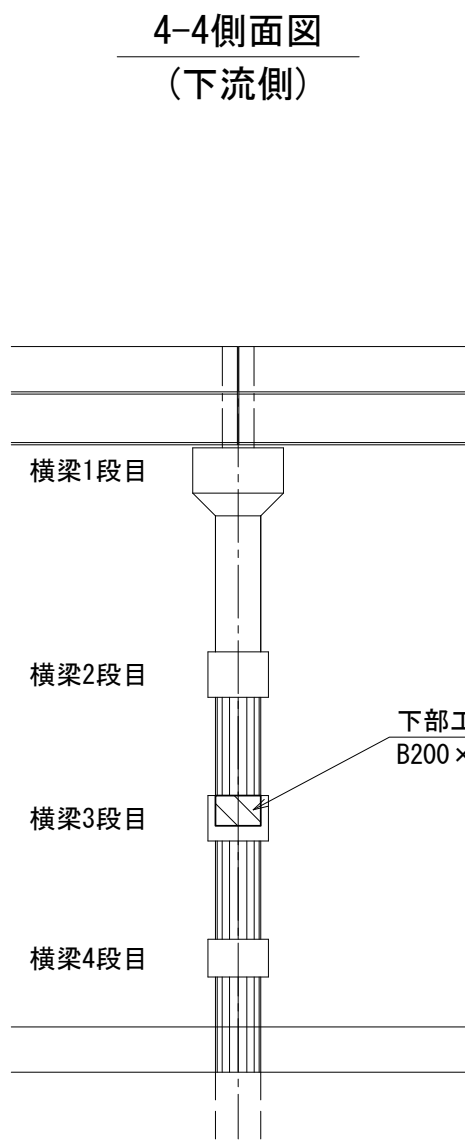
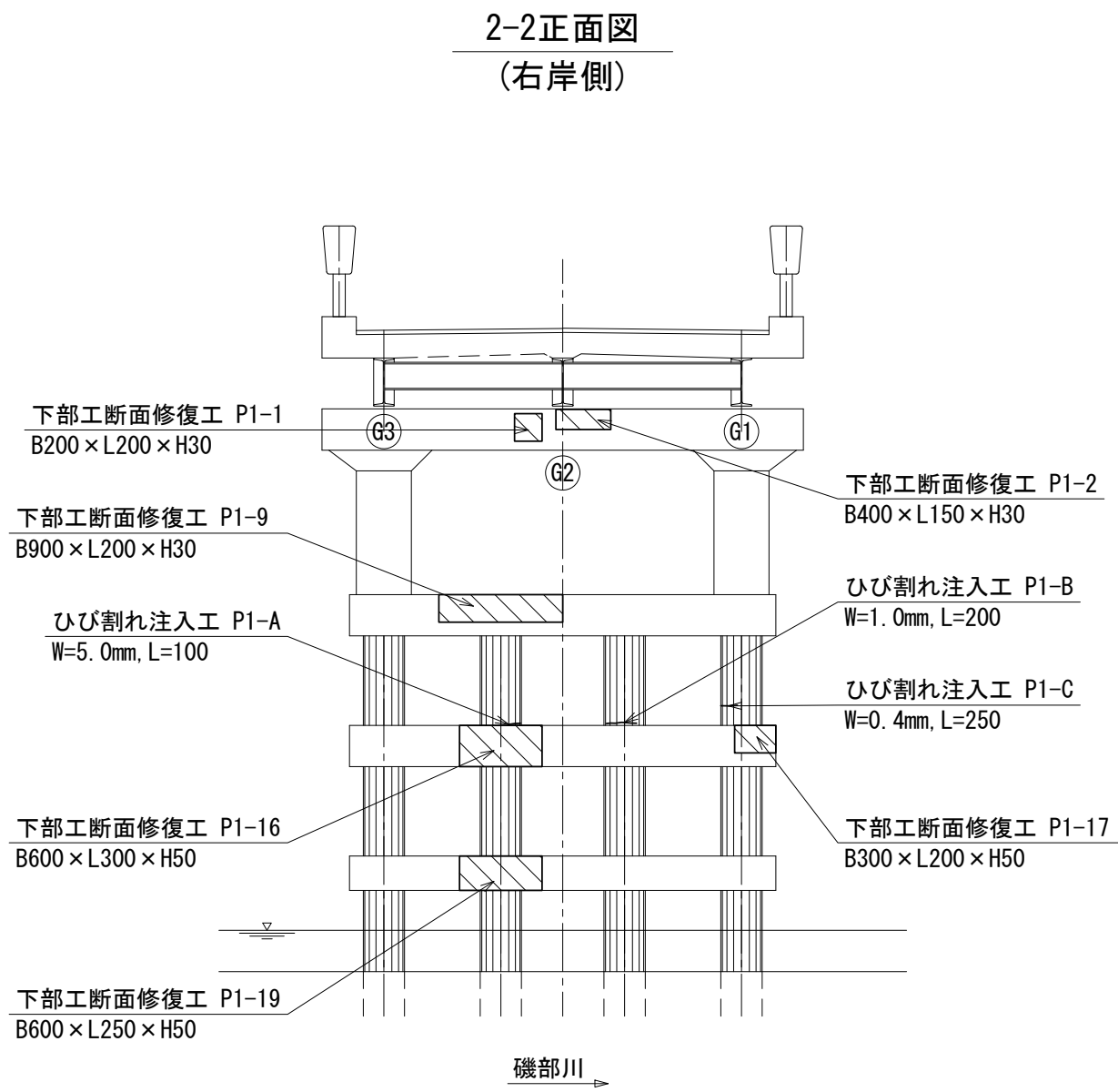
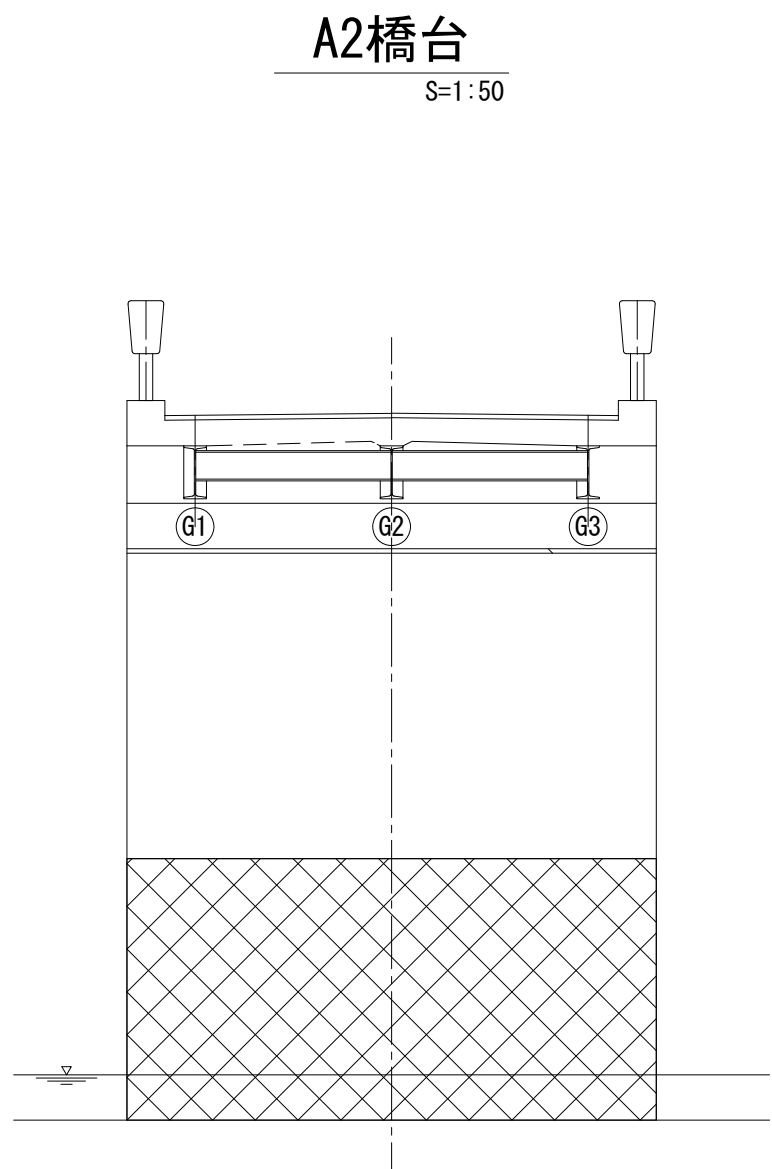
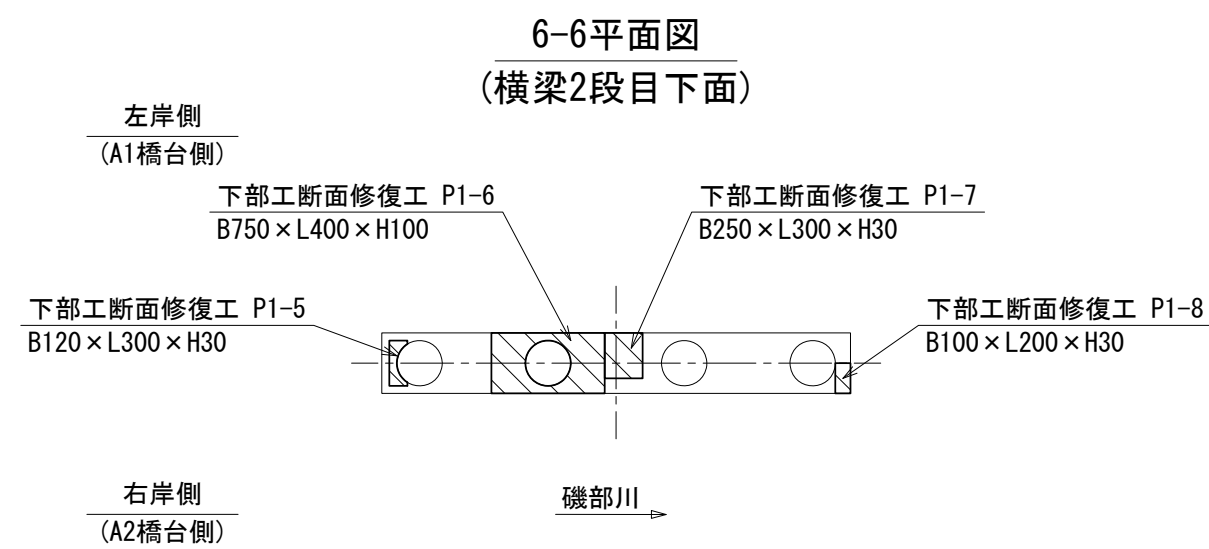
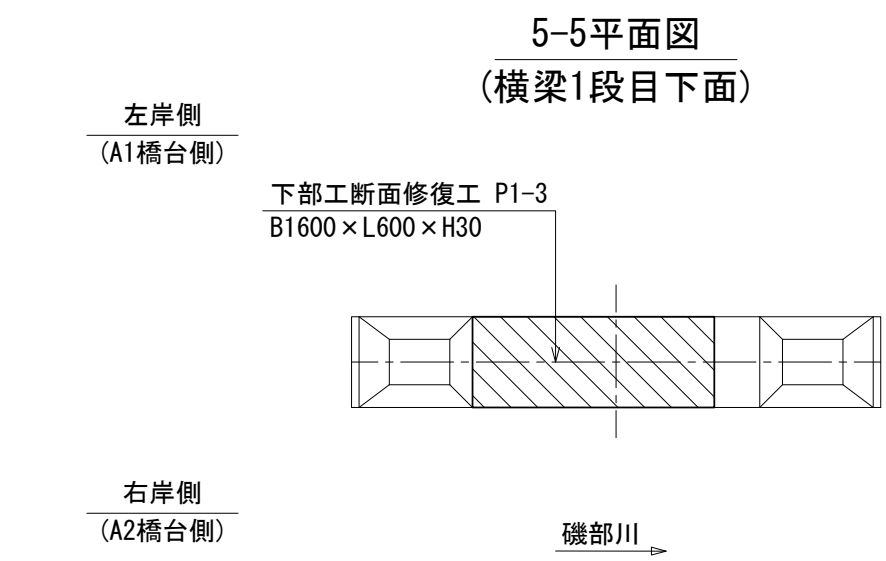
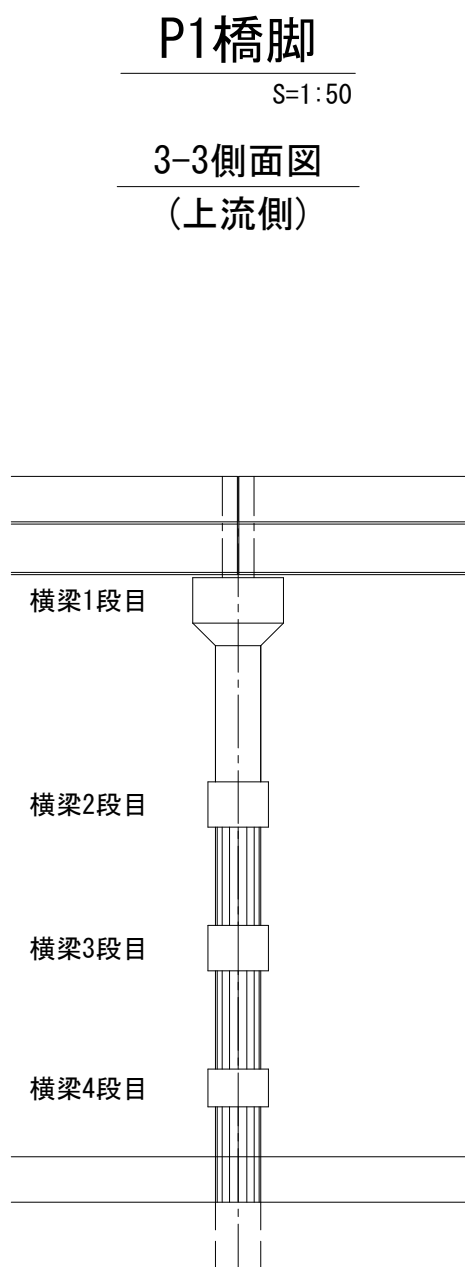
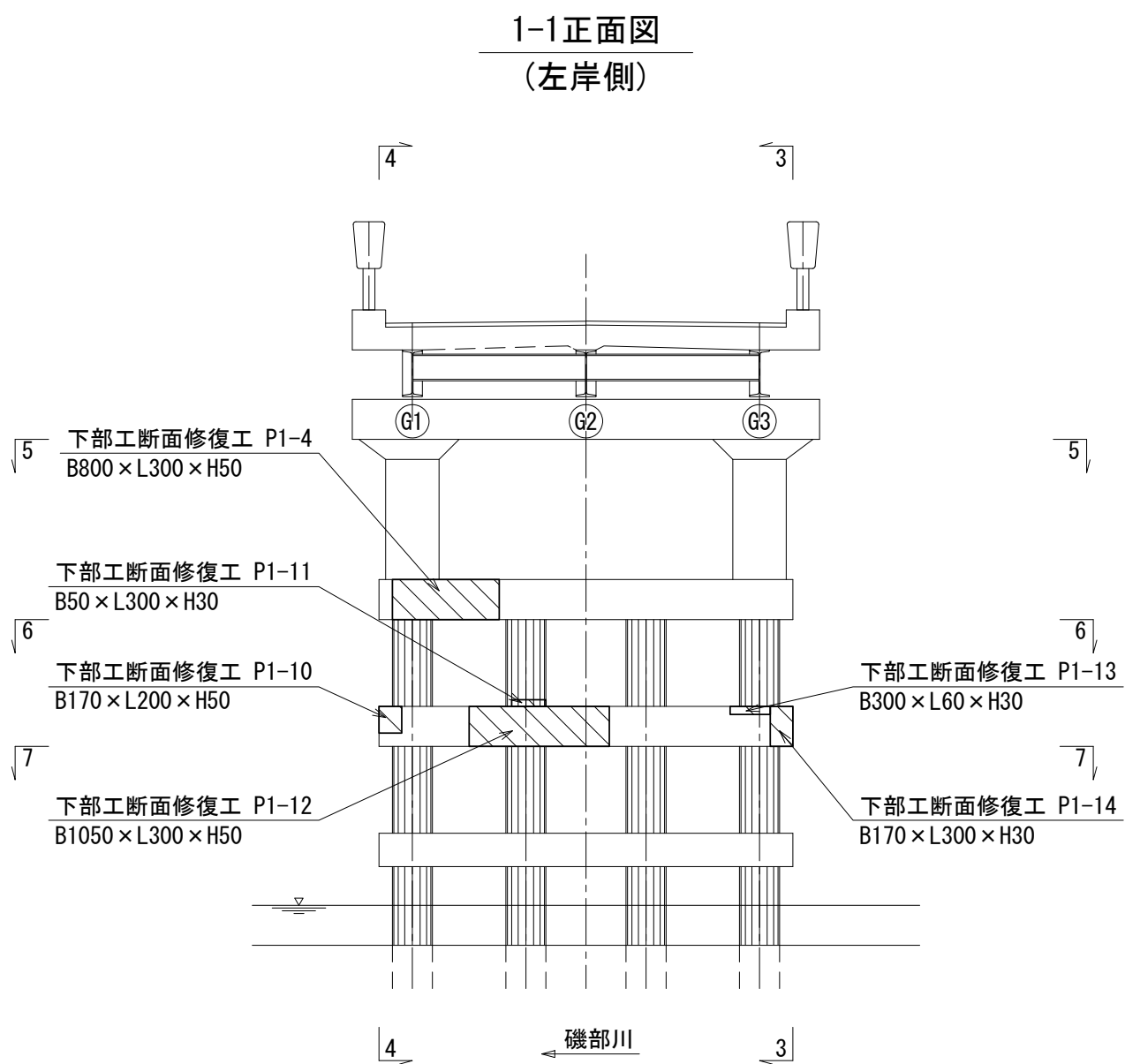
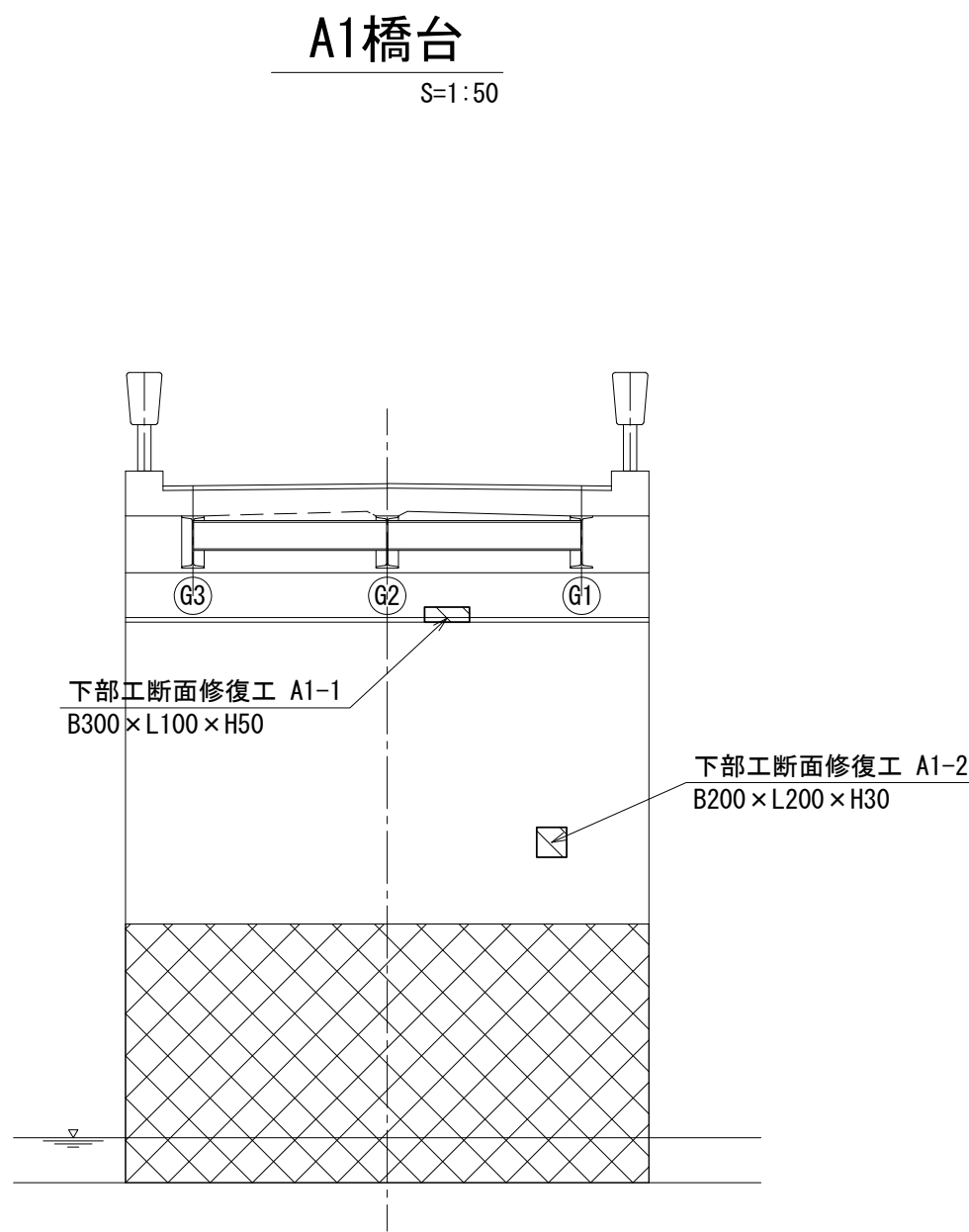


- ※ ひび割れ部の修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。

- 注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
- 2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
- 3)：各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】				
工 事 名	令和2年度 第2A1確002号 道路メンテナンス事業 頂間寺橋 橋梁修繕工事			
図 面 名	修繕工詳細図（2）			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	10	3 葉之内
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

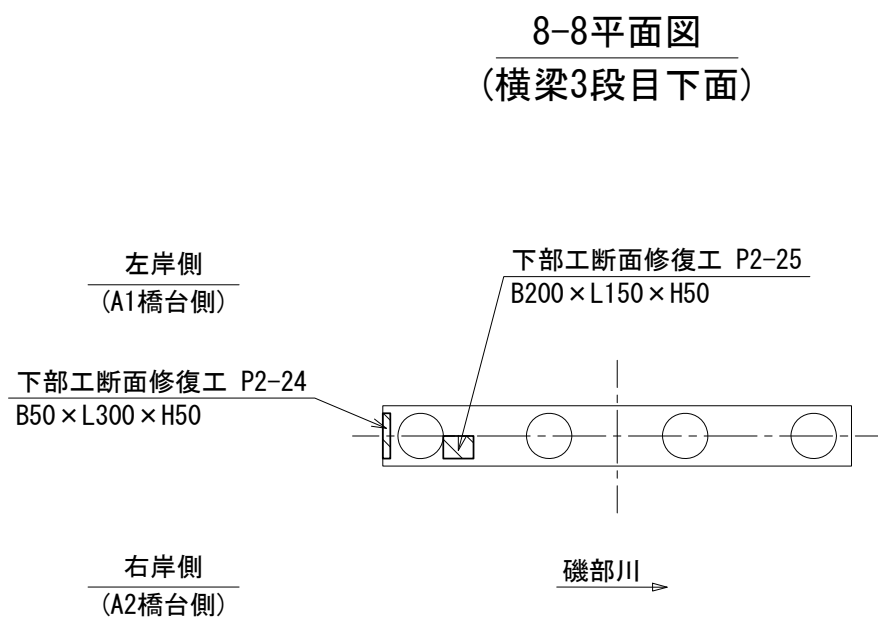
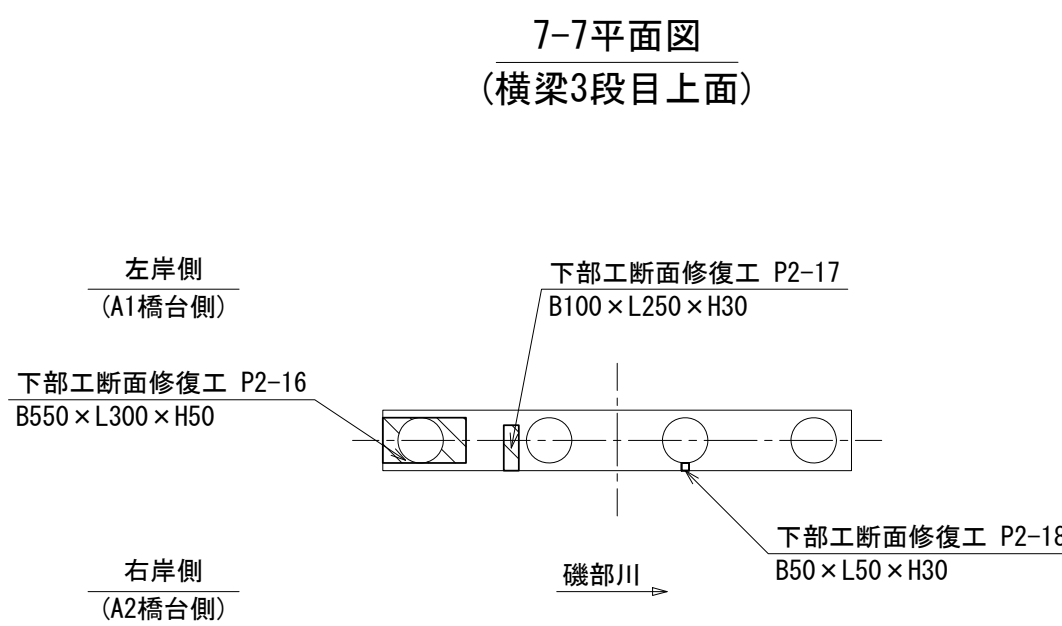
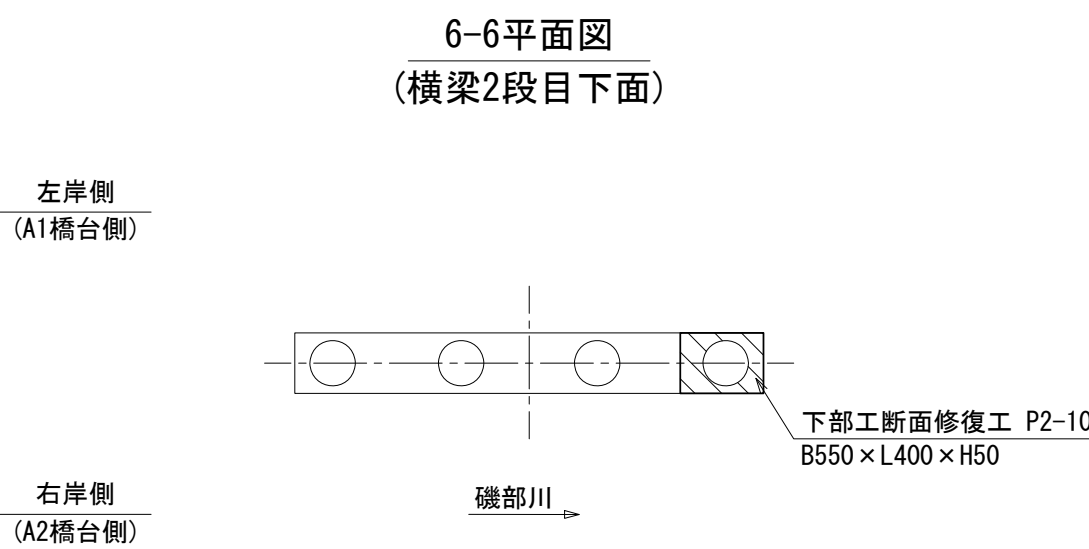
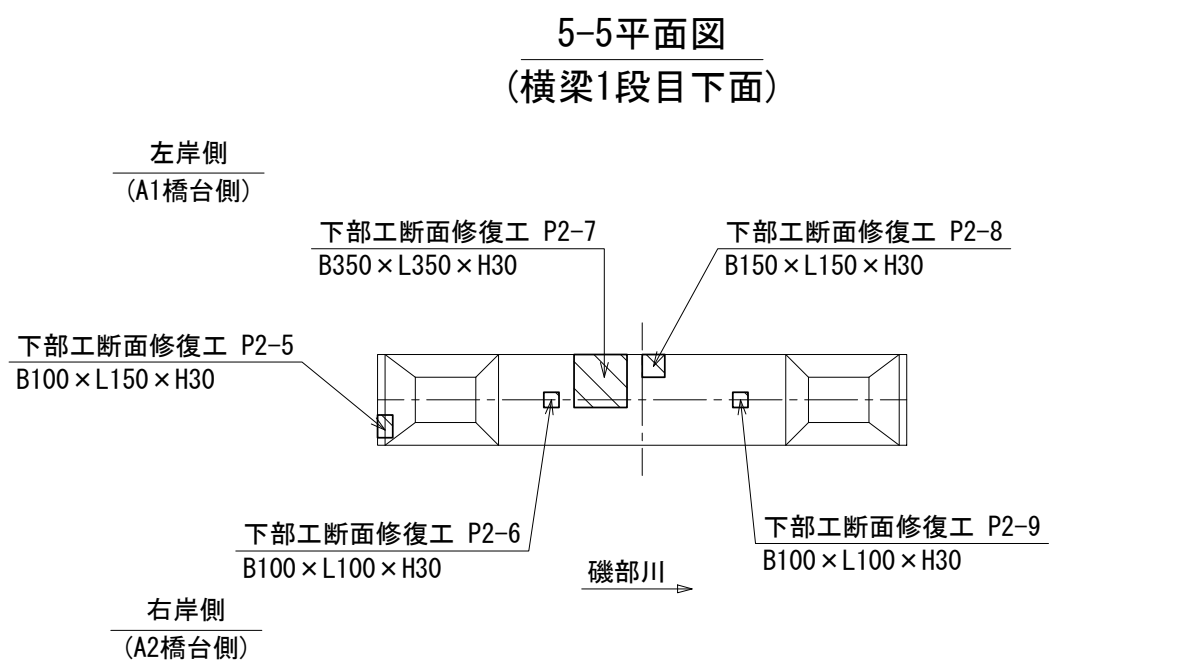
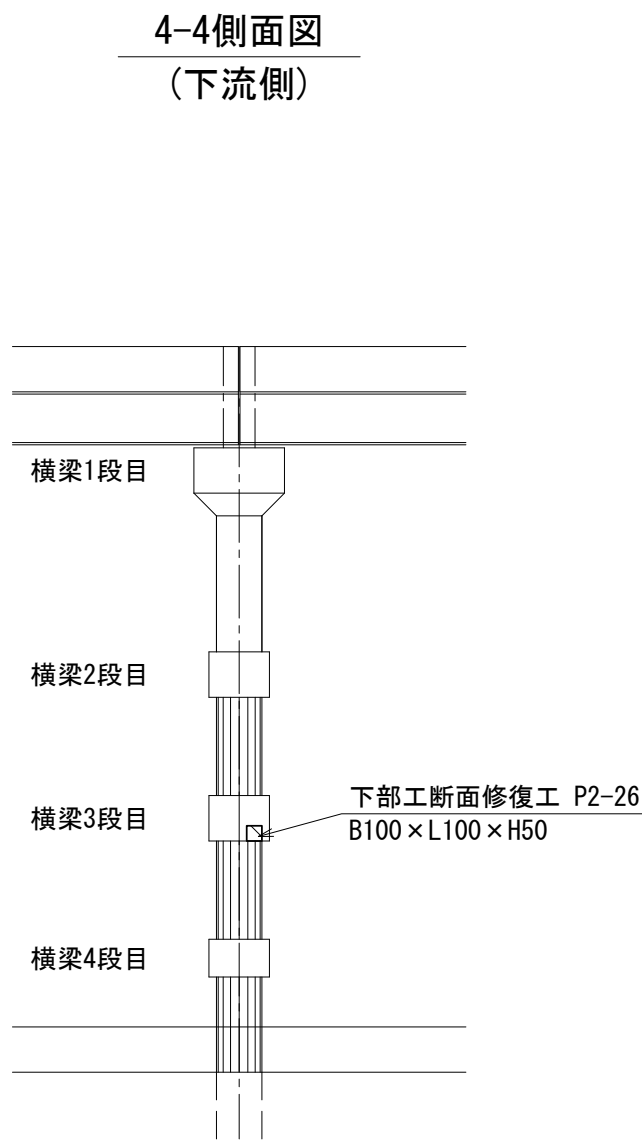
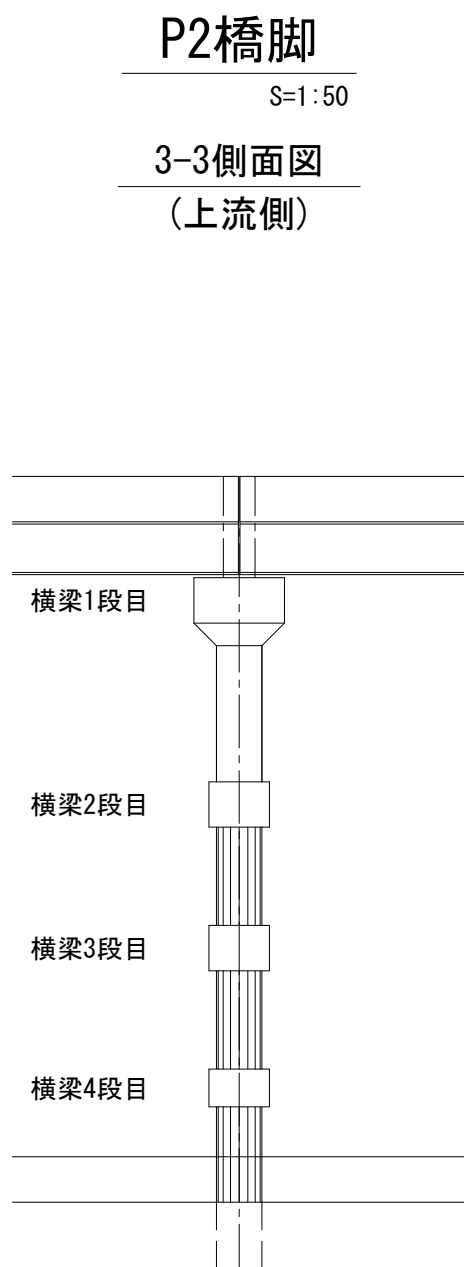
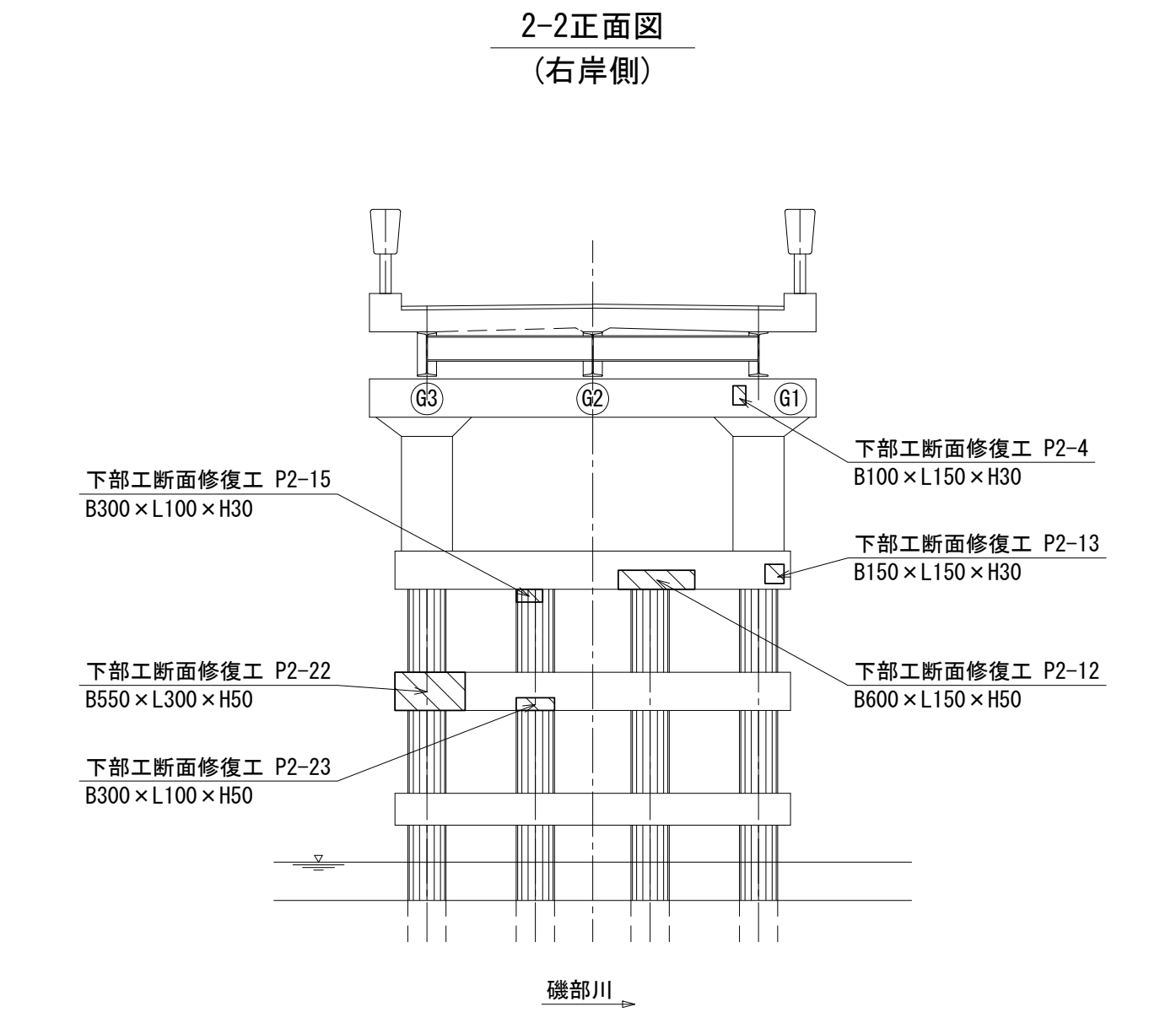
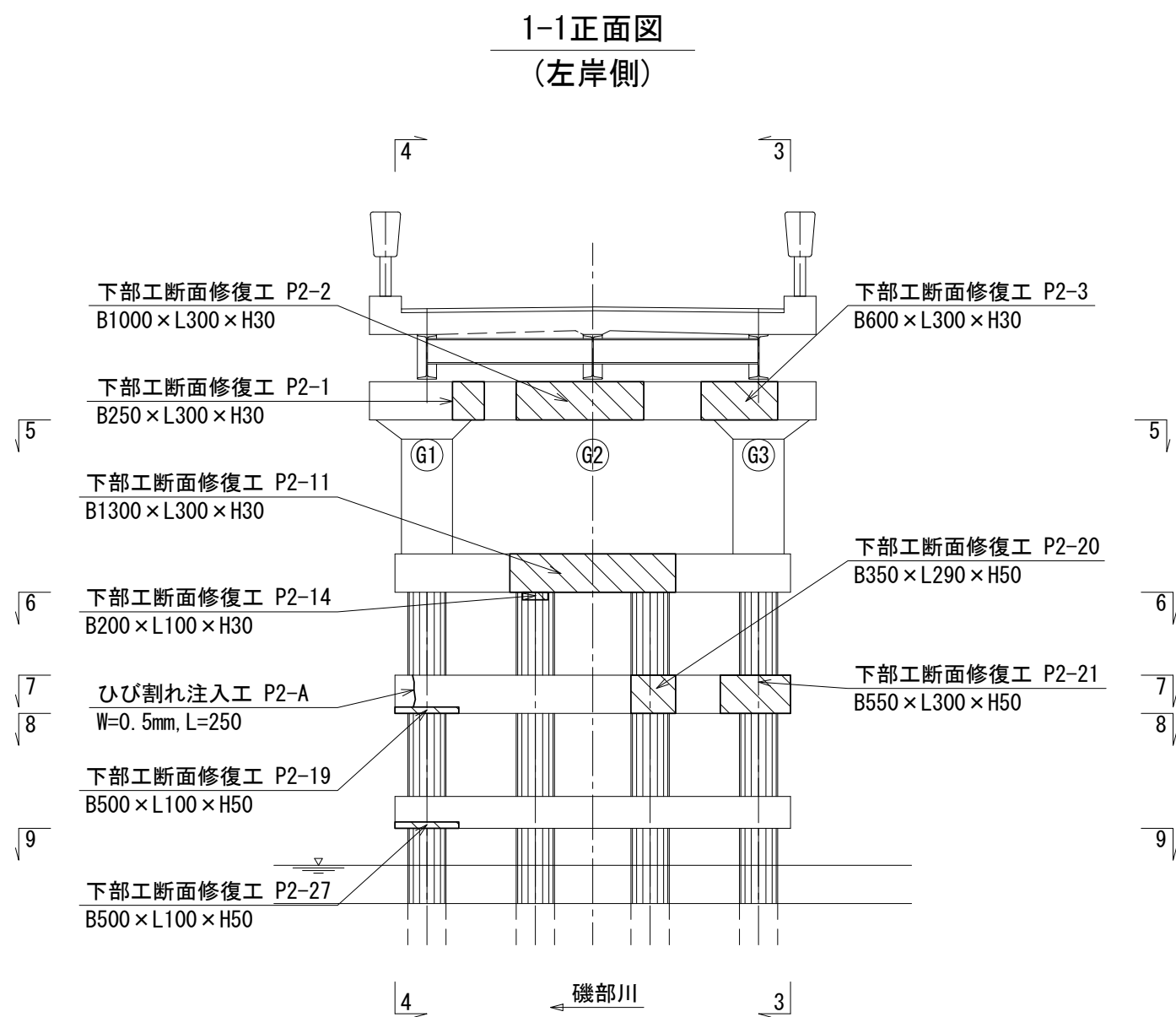
修繕工詳細図(3)



注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をともなう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】				
工事名	令和2年度 第2A1磯002号 道路メンテナンス事業 頂間寺橋 橋梁修繕工事			
図面名	修繕工詳細図(3)			
年月日				
尺度	図示	図面番号	10	4 葉之内
会社名				
事務所名	志摩市			

修繕工詳細図(4)



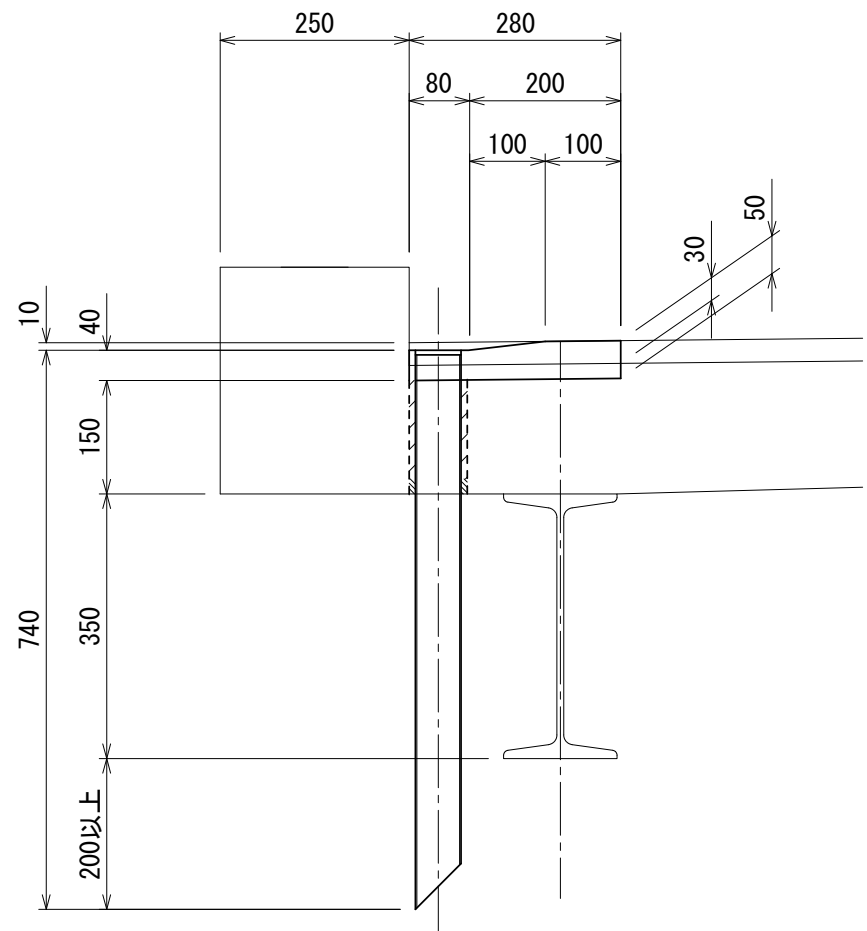
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】				
工事名	令和2年度 第2A1磯002号 道路メンテナンス事業 頂間寺橋 橋梁修繕工事			
図面名	修繕工詳細図（4）			
年月日				
尺度	図示	図面番号	10	5 葉之内
会社名				
事務所名	志 摩 市			

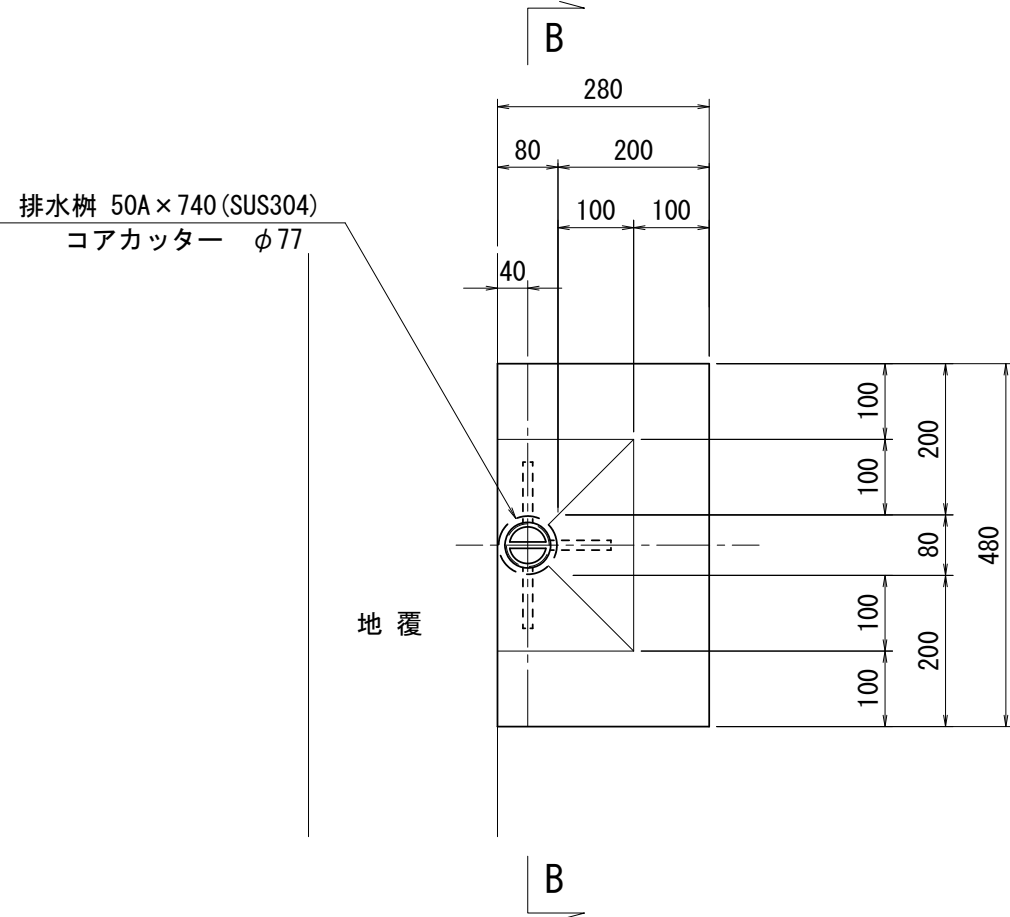
修繕工詳細図(5)

排水桝設置工

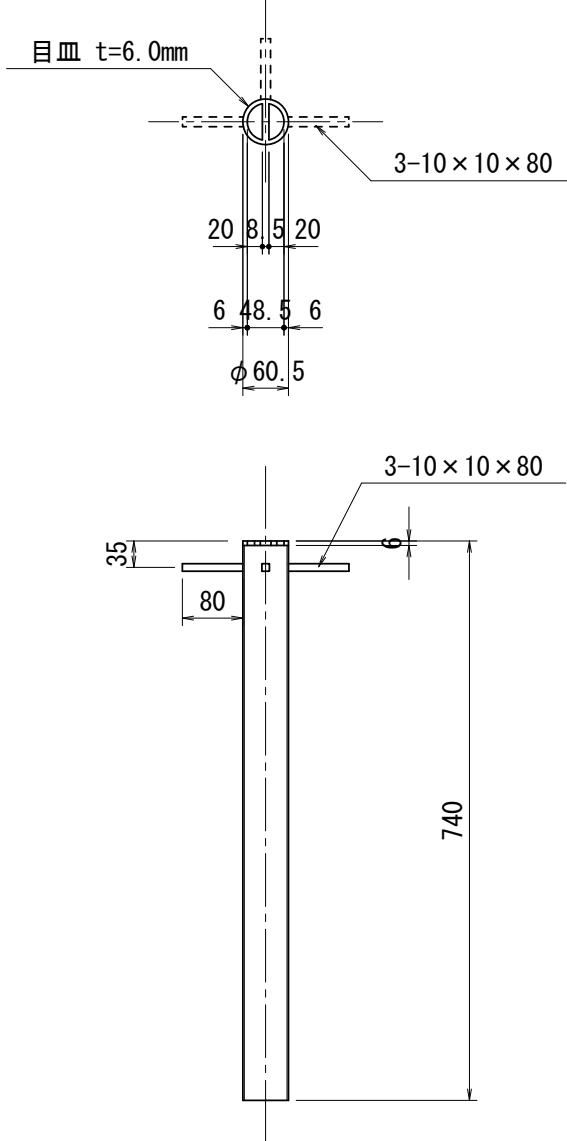
断面図
S=1:10



A-A断面図
S=1:10

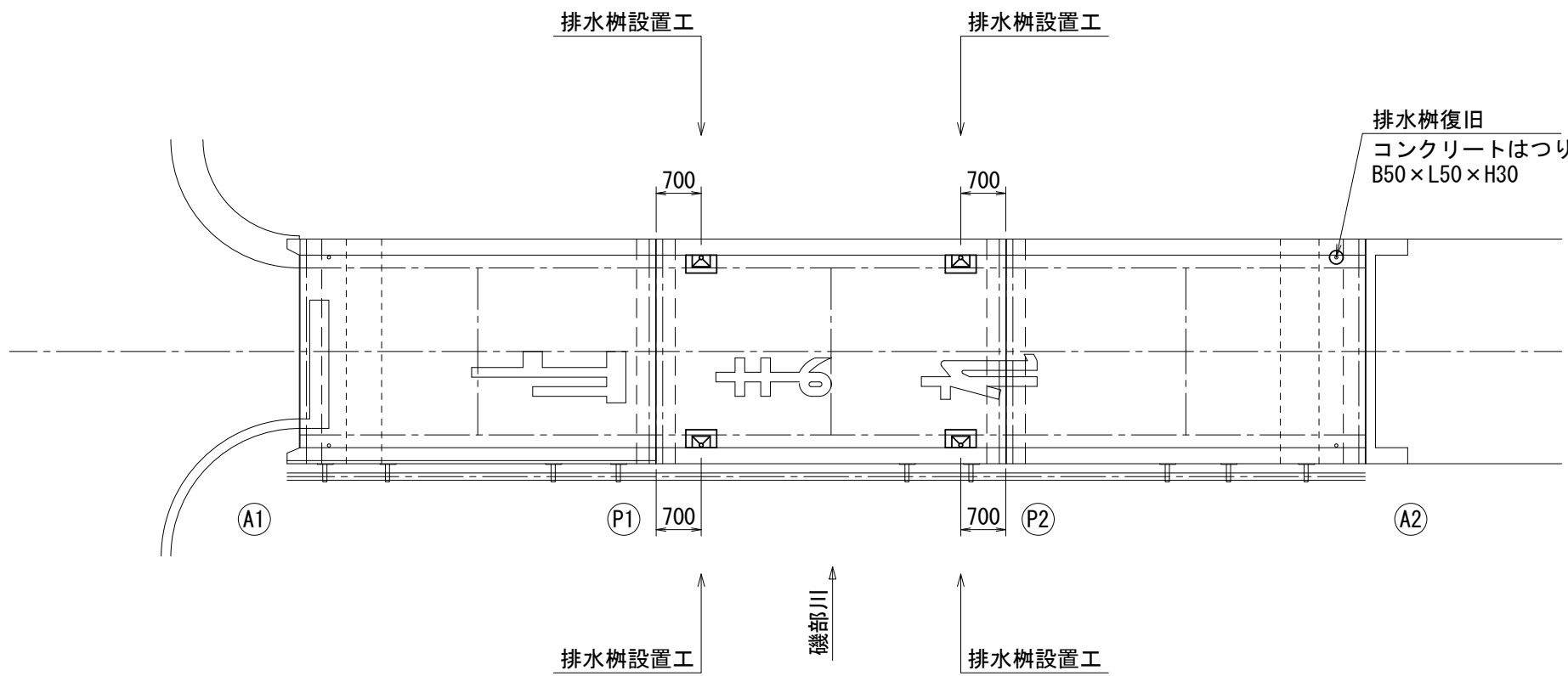


排水桝詳細図
TSDR-BH相当品 S=1:10

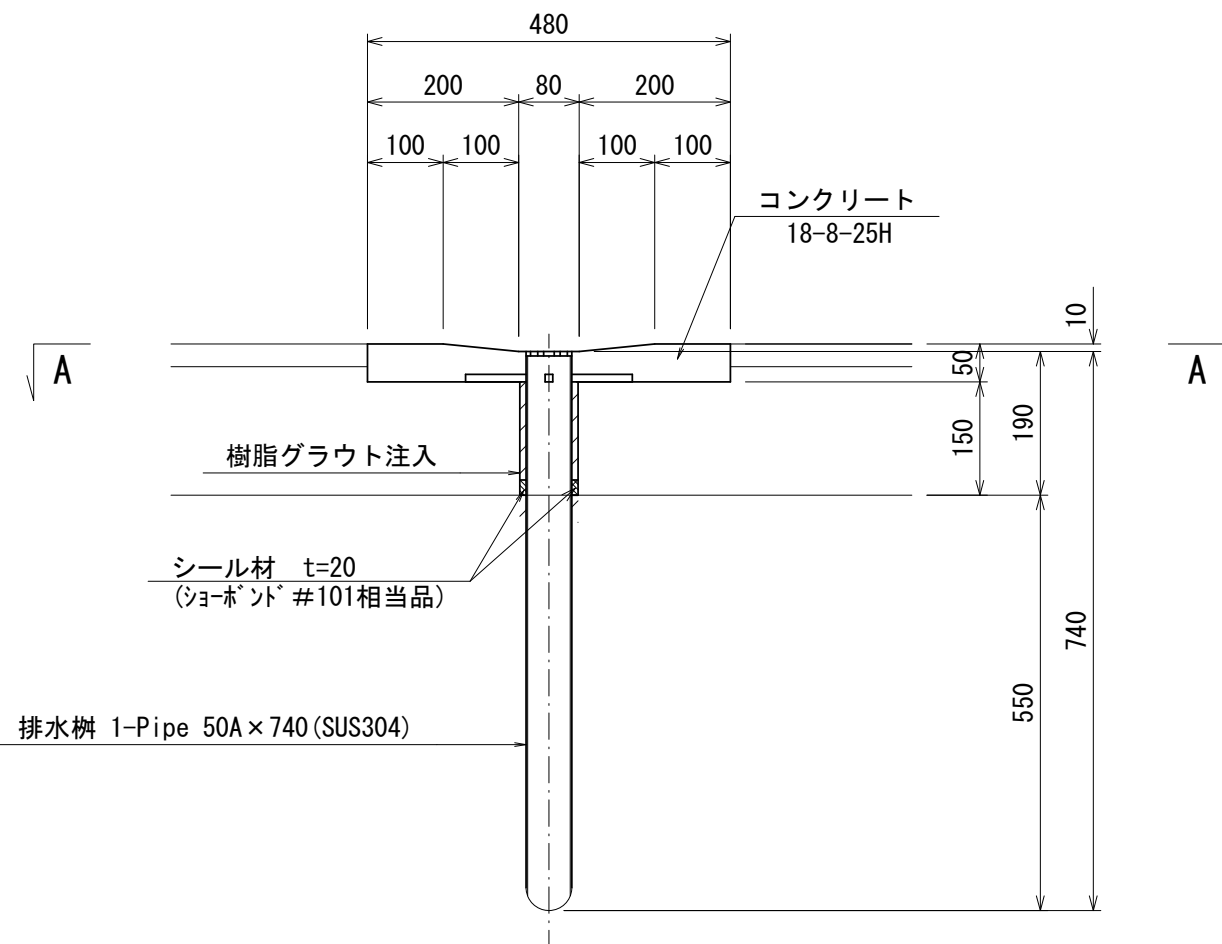


1箇所当り
1-Pipe 50A x 734 (SUS304)
1-目皿 (SUS304)
3-10 x 10 x 80 (SUS304)

位置図
S=1:100



B-B断面図
S=1:10



- ※1) t=2.0mm未満のステンレス鋼材溶接内外面に對し、耐食性向上の措置を講じること。
2) 管の斜切りについては、地覆側が低くなるように排水桝を製作すること(断面図参照)。
3) 施工にあたっては、事前に鉄筋探索を行い鉄筋を切断しないようにすること。

注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】				
工事名	令和2年度 第2A1橋002号 道路メンテナンス事業 頂間寺橋 橋梁修繕工事			
図面名	修繕工詳細図（5）			
年月日				
尺度	図示	図面番号	10	6 葉之内
会社名				
事務所名	志 摩 市			

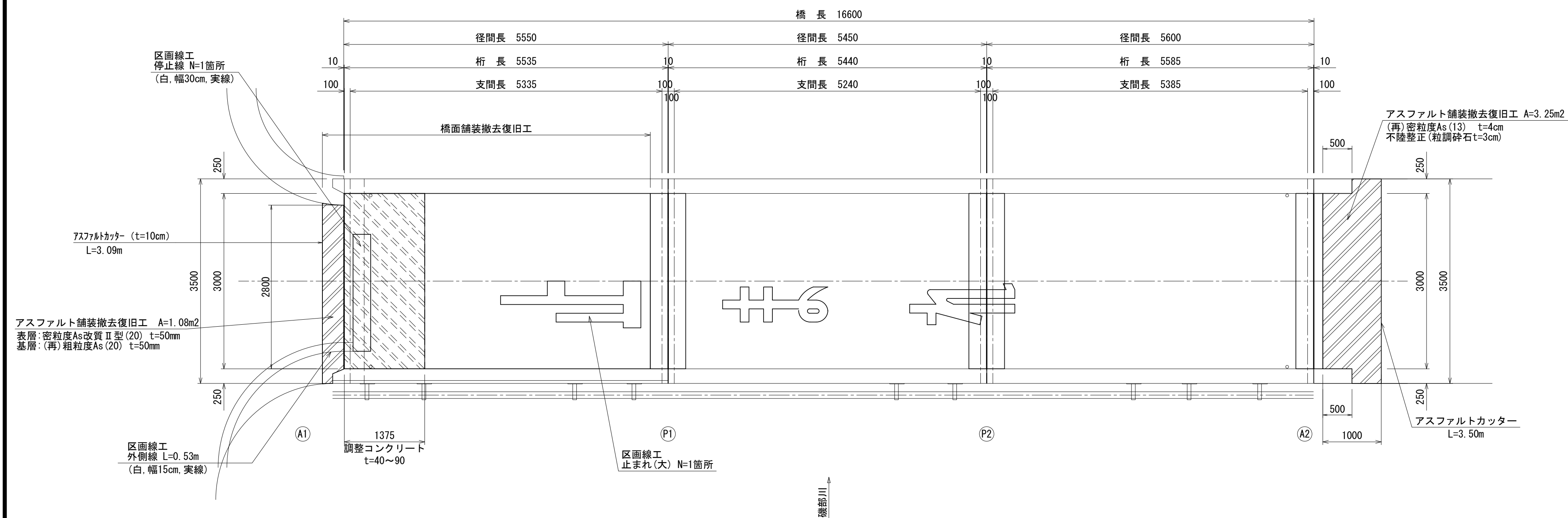
修繕工詳細図(6)

橋面舗装撤去復旧工・アスファルト舗装撤去復旧工

平面图

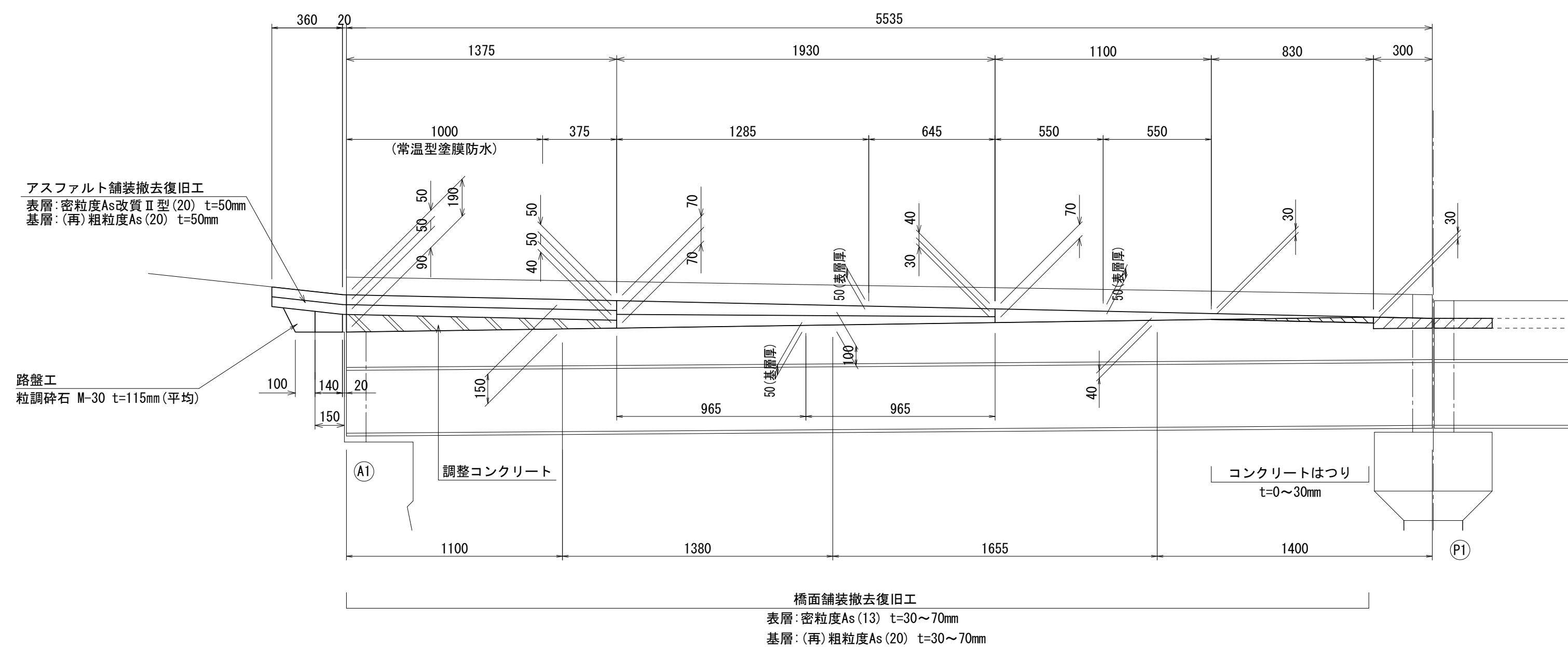
S=1 : 50

上面



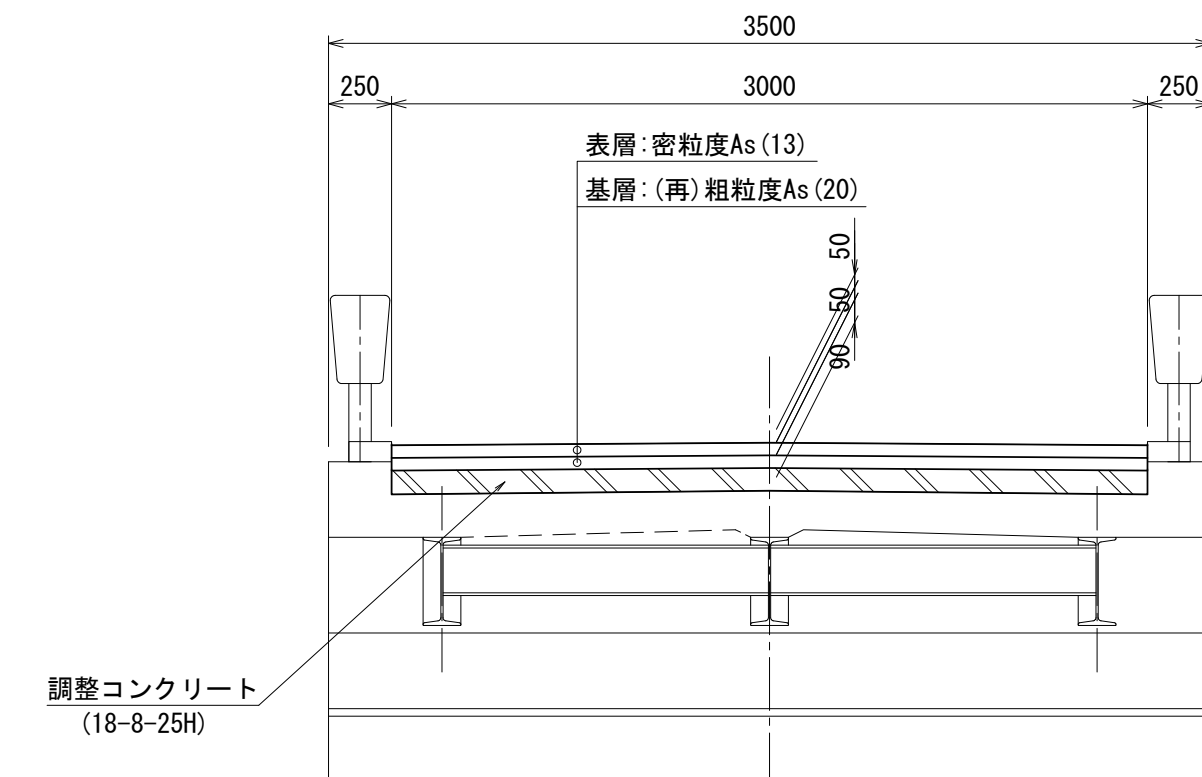
側 面 図

S=1:20



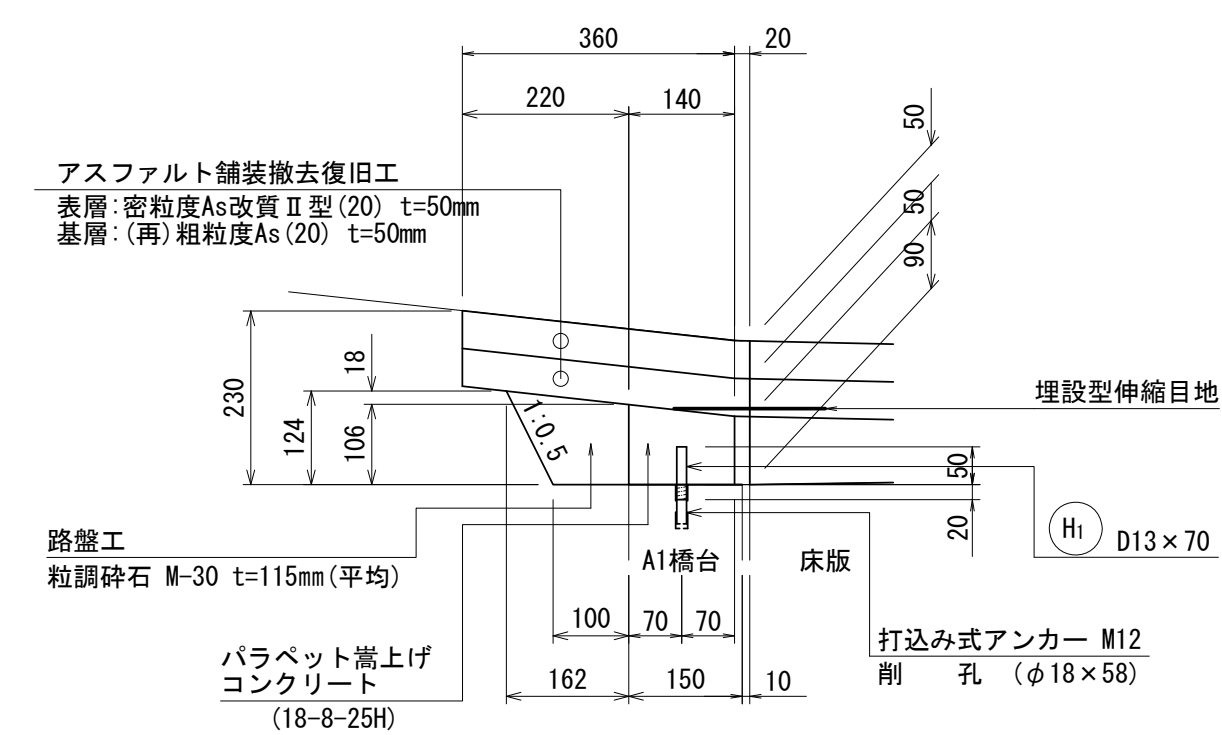
断面図

A1橋台側 S=1:30



A1橋台部側面図

S=1:10



注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
 施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。

2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をともなう施工は行わないこと。
 また、これによりたがい場合は別途監督員と協議すること。

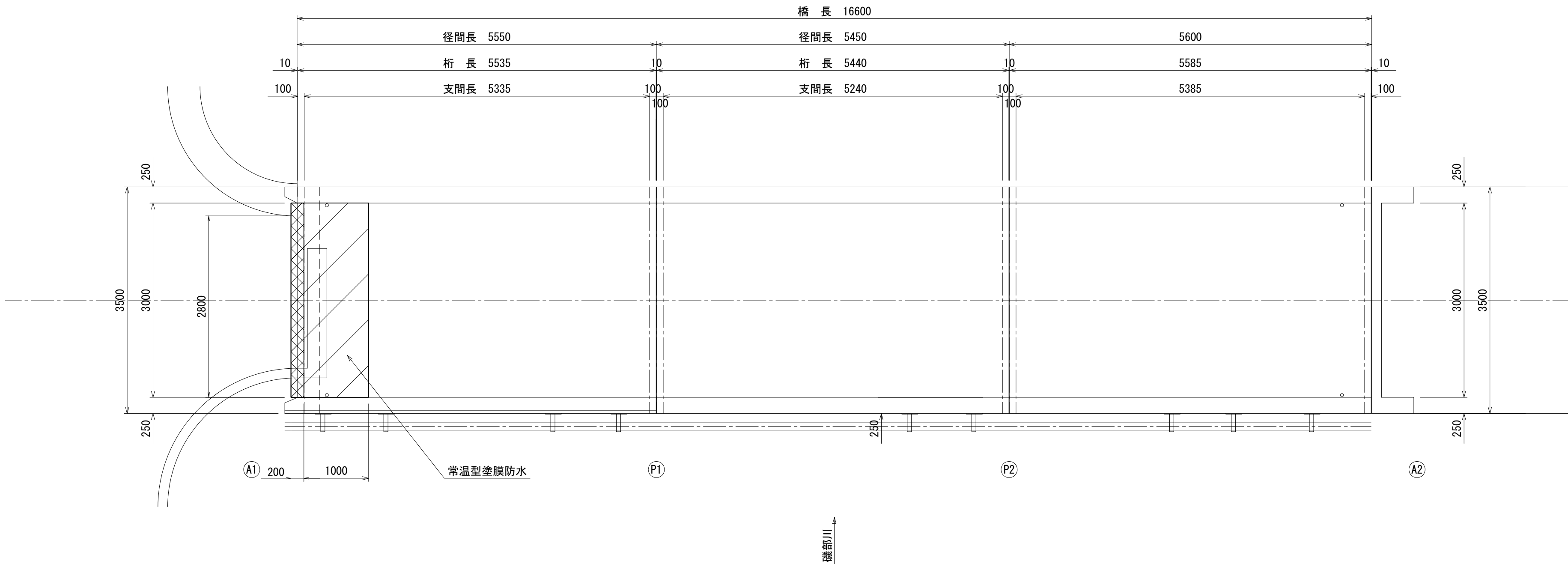
【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】			
工 事 名	令和2年度 第2AI微002号 道路メンテナンス事業 頂間寺橋 橋梁修繕工事		
図 面 名	修繕工詳細図（6）		
年 月 日			
尺 度	図 示	図面番号	10 之内 7
会 社 名			
事務所名	志 摩 市		

修繕工詳細図(7)

埋設型伸縮目地設置工

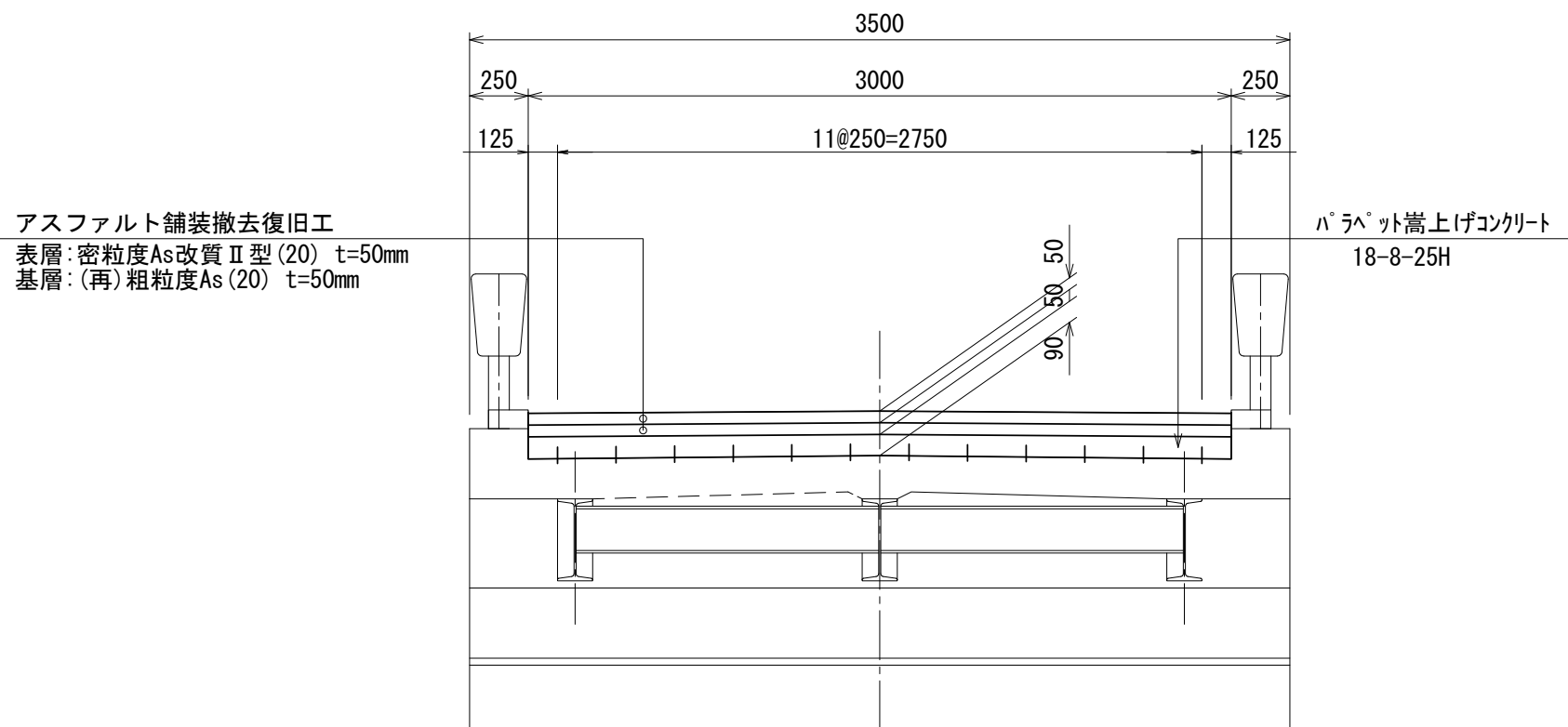
平面図

S=1:50



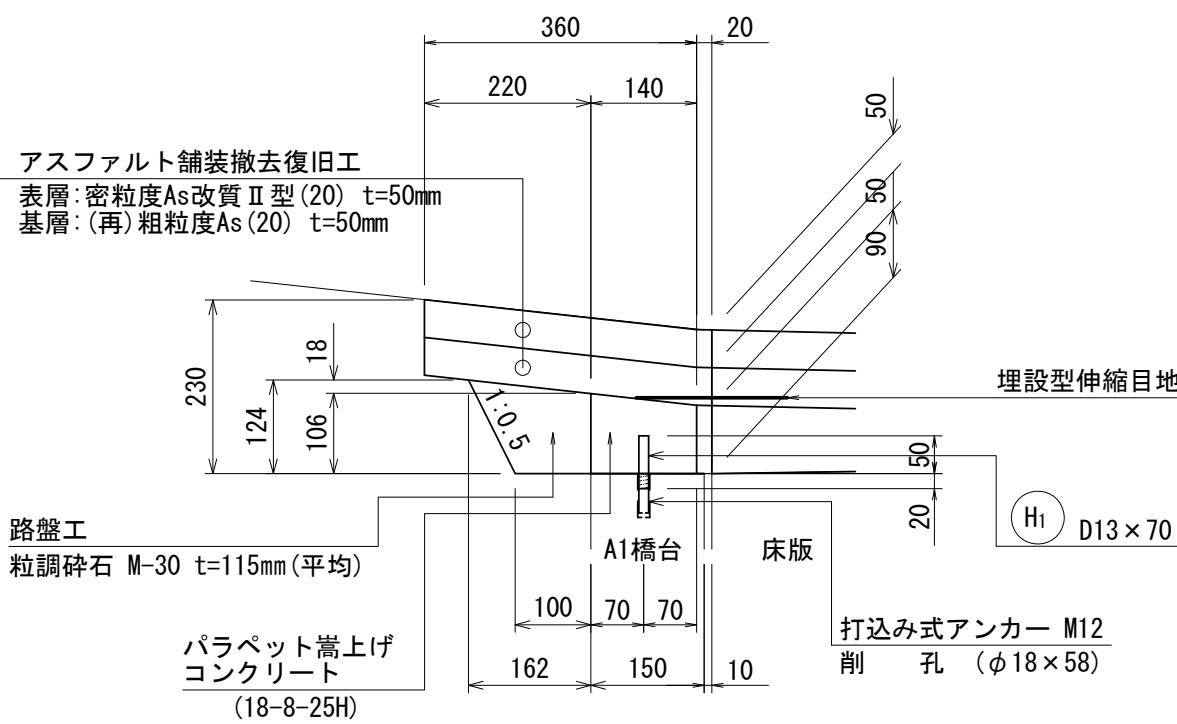
A1橋台部断面図

S=1:30



A1橋台部側面図

S=1:10



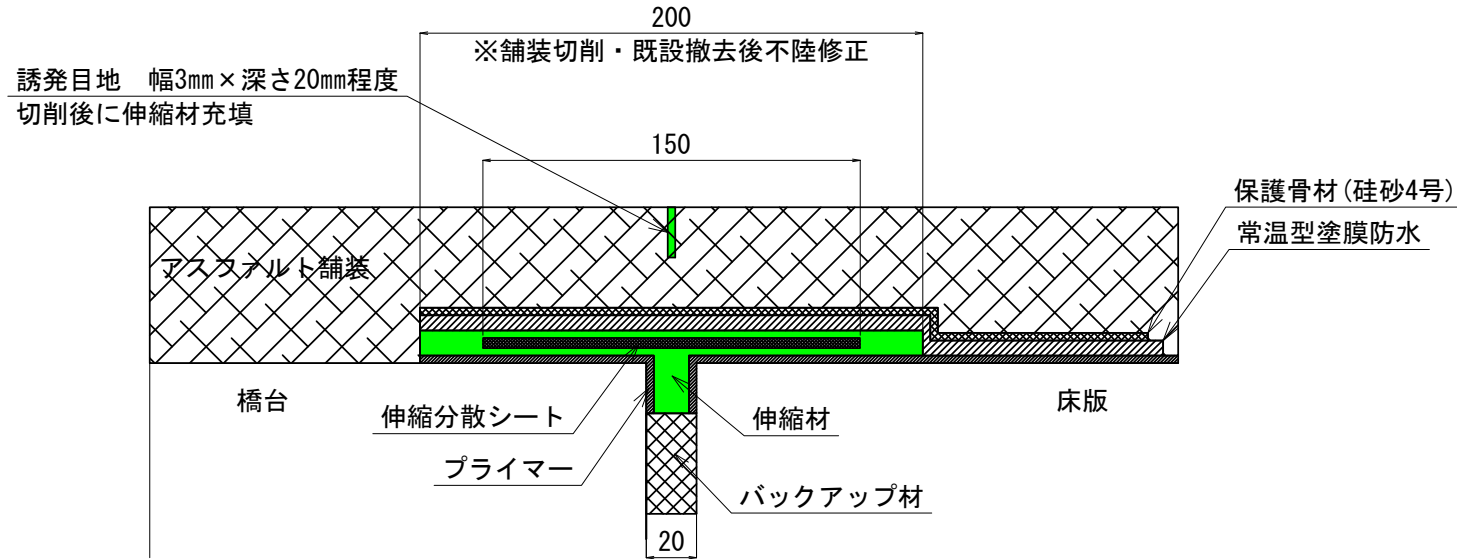
施工フロー図



伸縮目地及び床版防水の一体化工法詳細図

標準設計量 <補修>		NETIS番号	CB-170021-A相当品
名 称	材 質	備 考	
埋設型伸縮目地	常温型塗膜防水と一体化する同系材料		
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	1. 1m/m (ロス10%含む)	
伸縮材	主剤:ゴムアスファルト乳剤、硬化剤:ウレタン樹脂化合物	1. 00 kg/m (ロス率25%含む)	
プライマー	シリコーン系化合物	0. 045 kg/m (ロス率20%含む)	
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	0. 55m/m (ロス率10%含む)	
伸縮材 (誘発目地)	主剤:ゴムアスファルト乳剤、硬化剤:ウレタン樹脂化合物	0. 06 kg/m (ロス率20%含む)	

伸縮目地断面図



※注記

- 伸縮目地設置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
- 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定すること
下記に参考仕様を示す

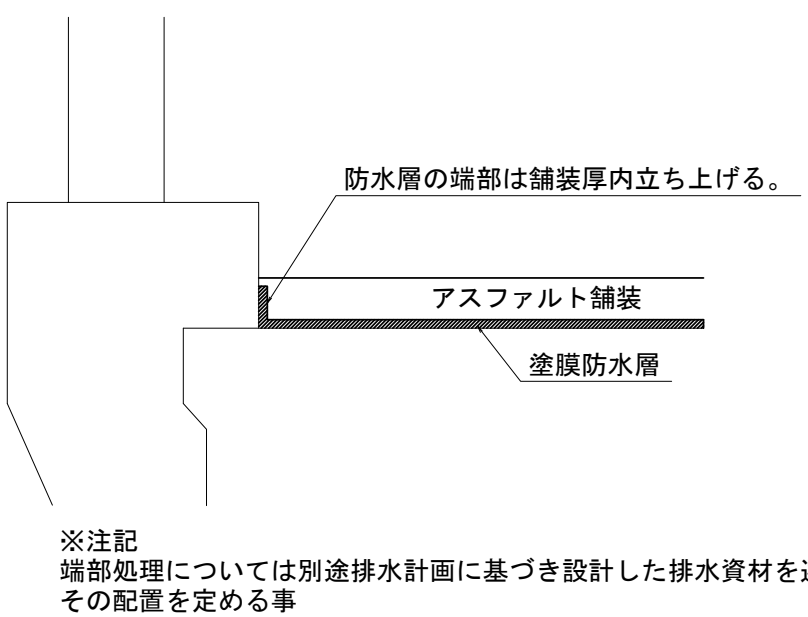
一体化	遊間部止水層が床版防水層と一体化した伸縮目地として機能すること
伸縮追従性	±4mm繰り返して剥離・破損がないこと 6000回
	±10mm繰り返して剥離・破損がないこと 15回

- 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
- 伸縮剤との一体化のため、橋面防水工の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること

標準設計量 <補修>

標準設計量 <補修>		NETIS番号	CB-170021-A相当品
名 称	材 質	備 考	
橋面防水	埋設型伸縮目地と一体化する同系材料		
常温型塗膜防水材	主剤:ゴムアスファルト乳剤、硬化剤:ウレタン樹脂化合物	1. 50 kg/m2 (ロス率25%含む)	
プライマー	シリコーン系化合物	0. 18 kg/m2 (ロス率20%含む)	
保護骨材	砂砂4号	0. 77 kg/m2 (ロス率10%含む)	

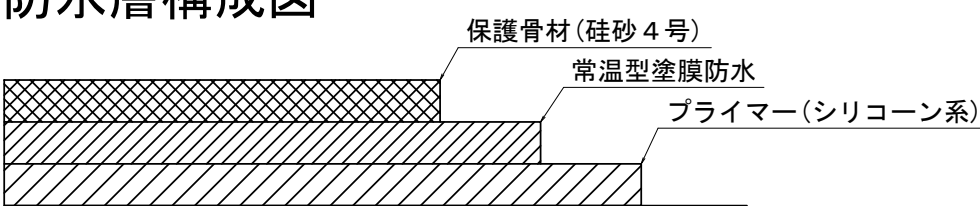
防水層詳細図



※注記

- 端部処理については別途排水計画に基づき設計した排水資材を選定し
その配置を定める事

防水層構成図



- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
- 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
- 3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をともなう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【頂間寺橋 (市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内) 】

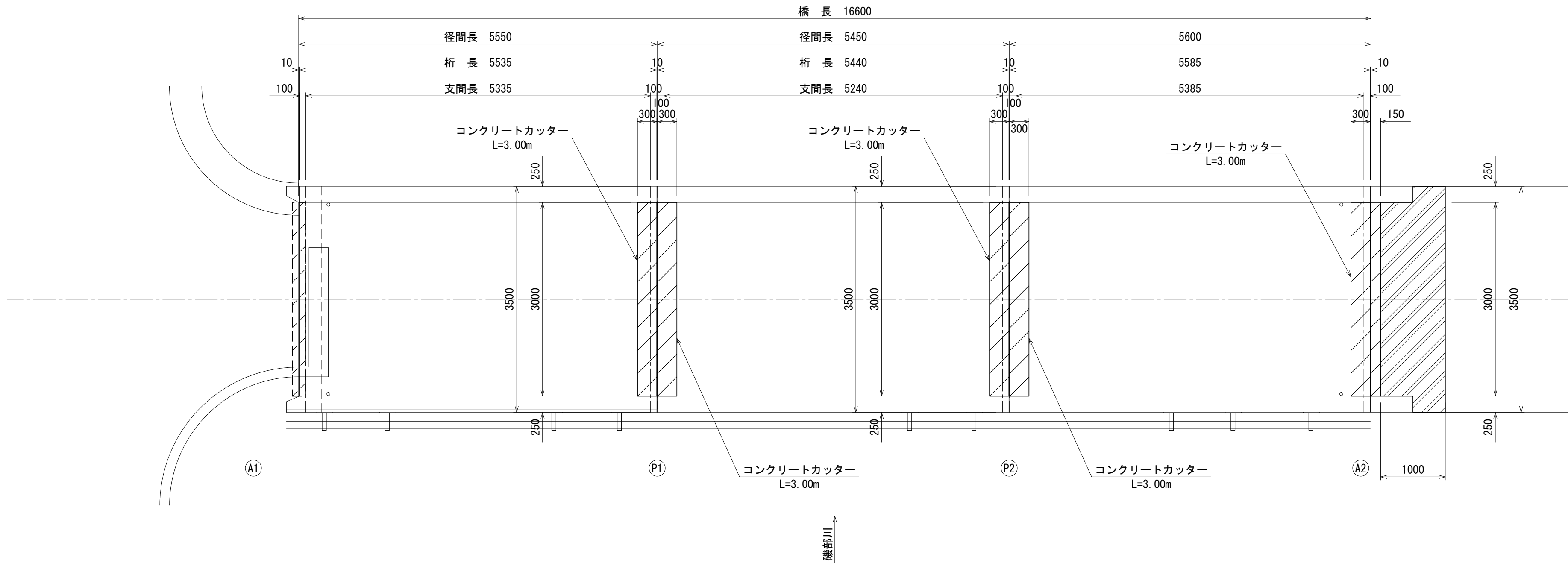
工 事 名	令和2年度 第2A1舗002号 道路メンテナンス事業
図 面 名	頂間寺橋 橋梁修繕工事
年 月 日	
尺 度	図 示 図面番号 10 業之内 8
会 社 名	
事務所名	志 摩 市

修繕工詳細図(8)

伸縮目地設置工

平面図

S=1:50

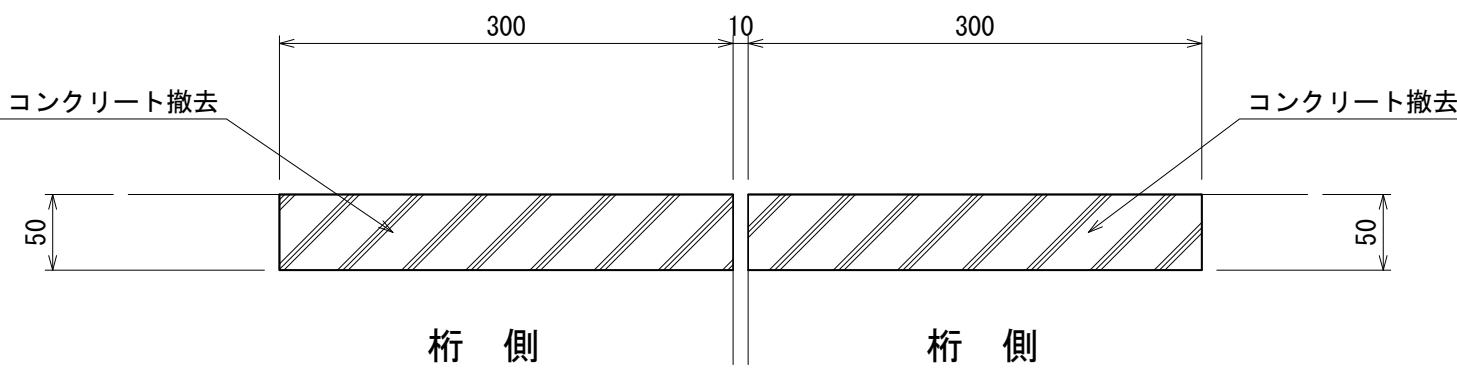


伸縮目地設置工

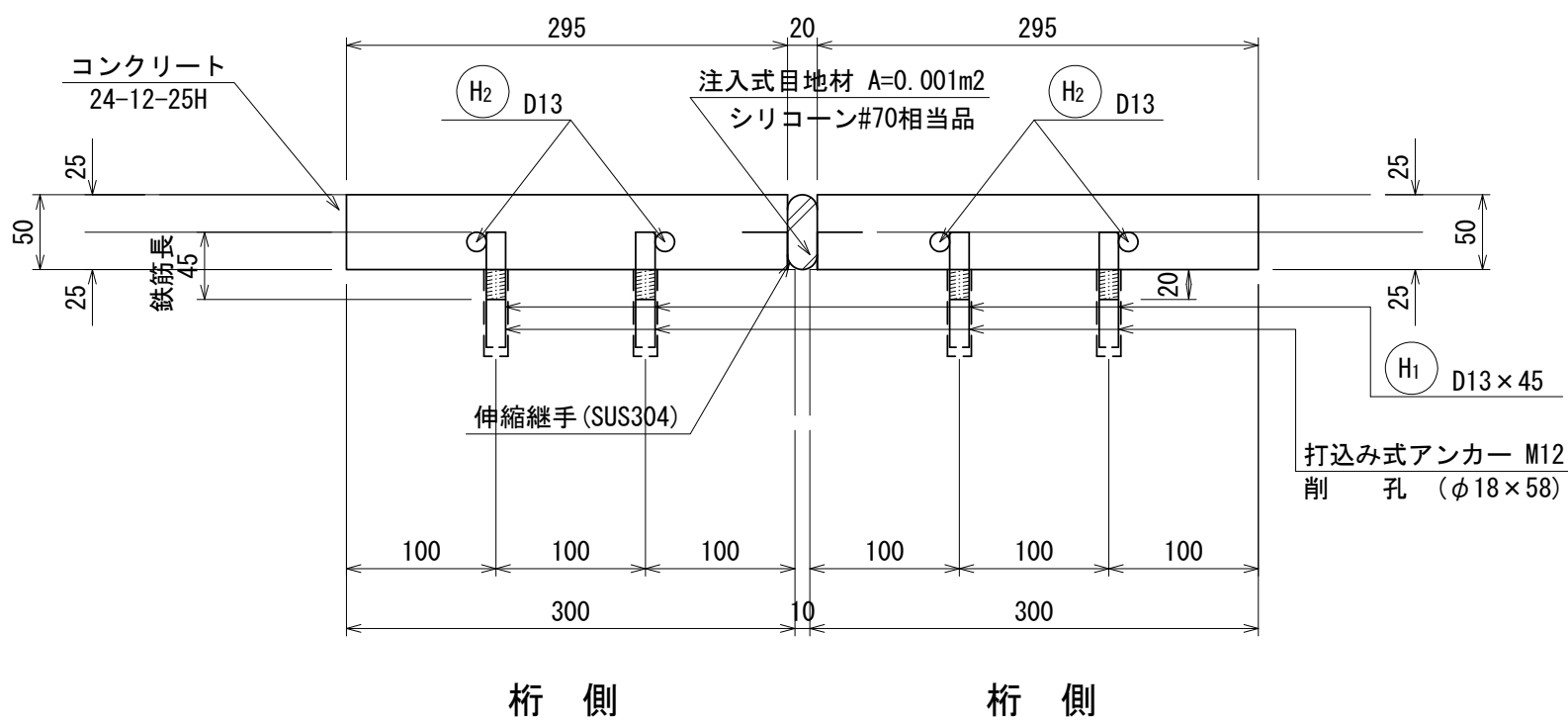
S=1:5

橋脚側

撤去時

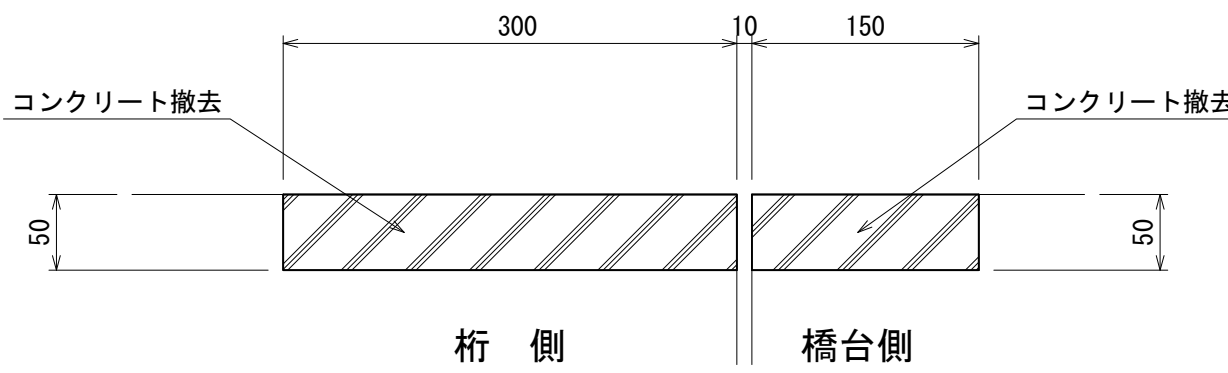


設置時

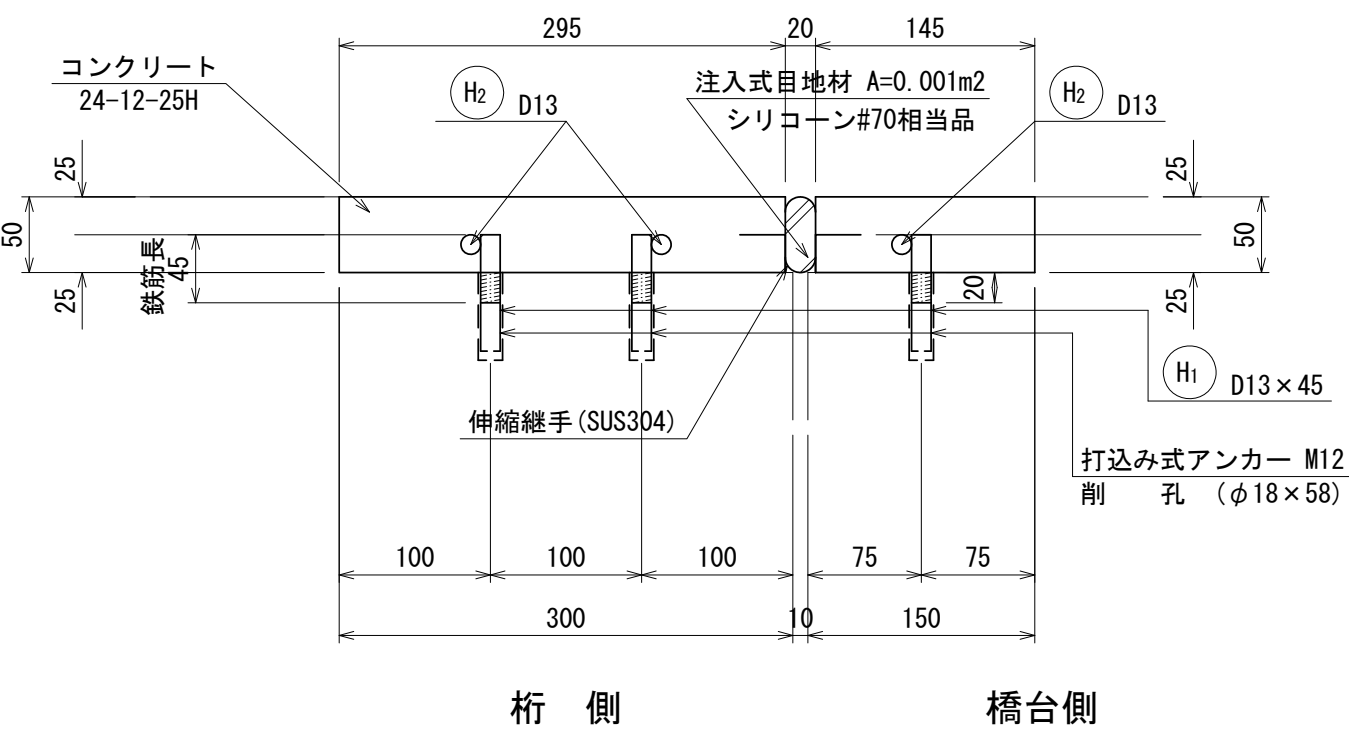


A2橋台側

撤去時

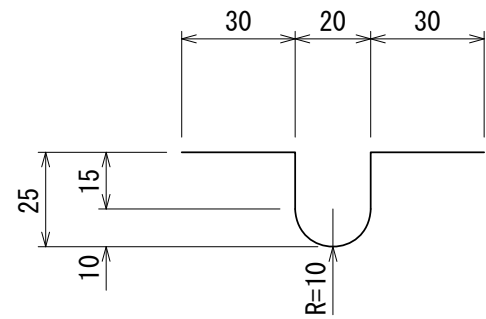


設置時



伸縮目地加工図

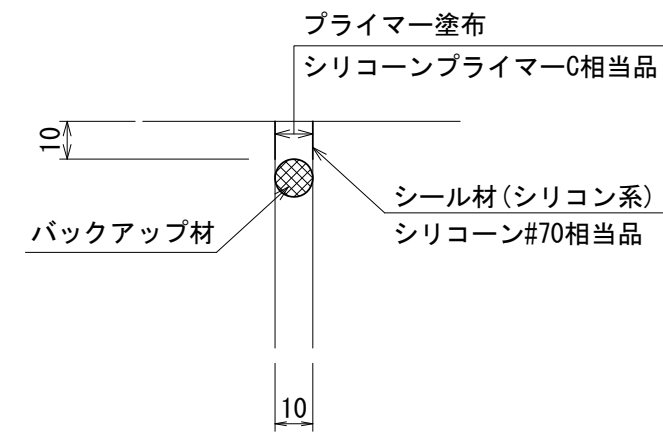
S=1:2



P1橋脚-PL 121.4×0.8×3000 (SUS304)
P2橋脚-PL 121.4×0.8×3000 (SUS304)
A2橋台-PL 121.4×0.8×3000 (SUS304)

シーリング材充填図

S=1:2

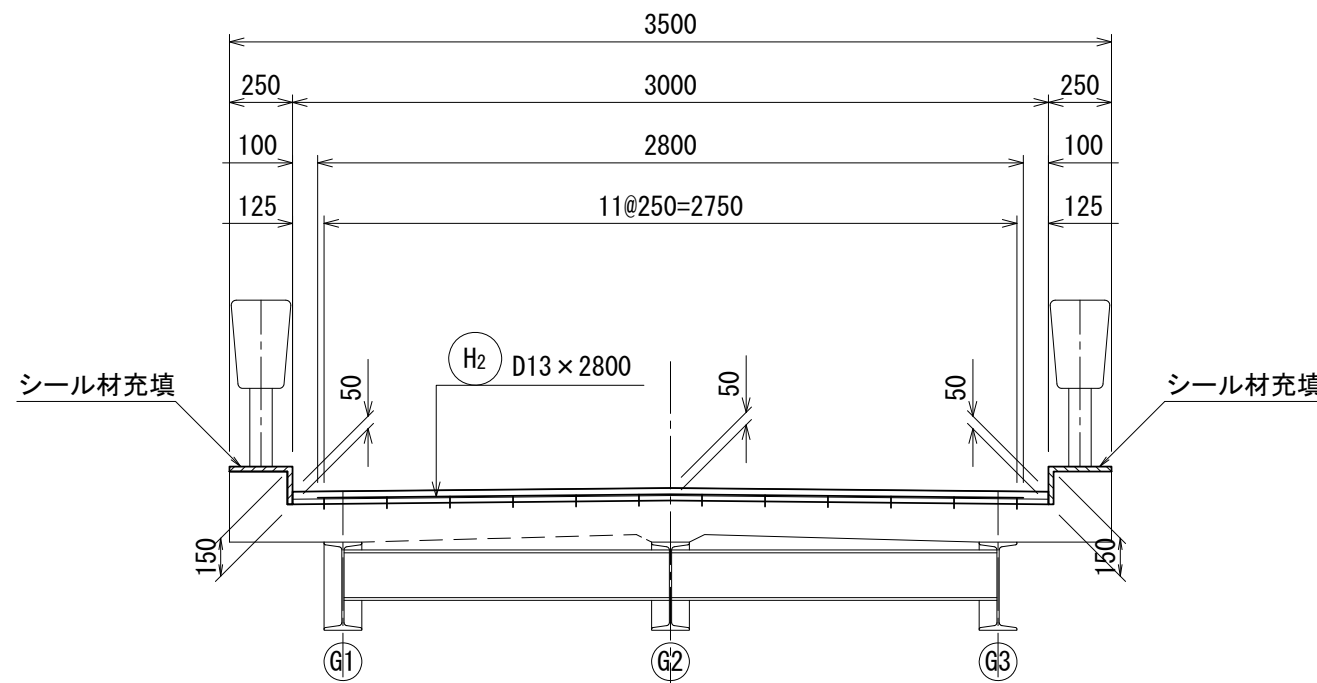


注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議すること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3) : 各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

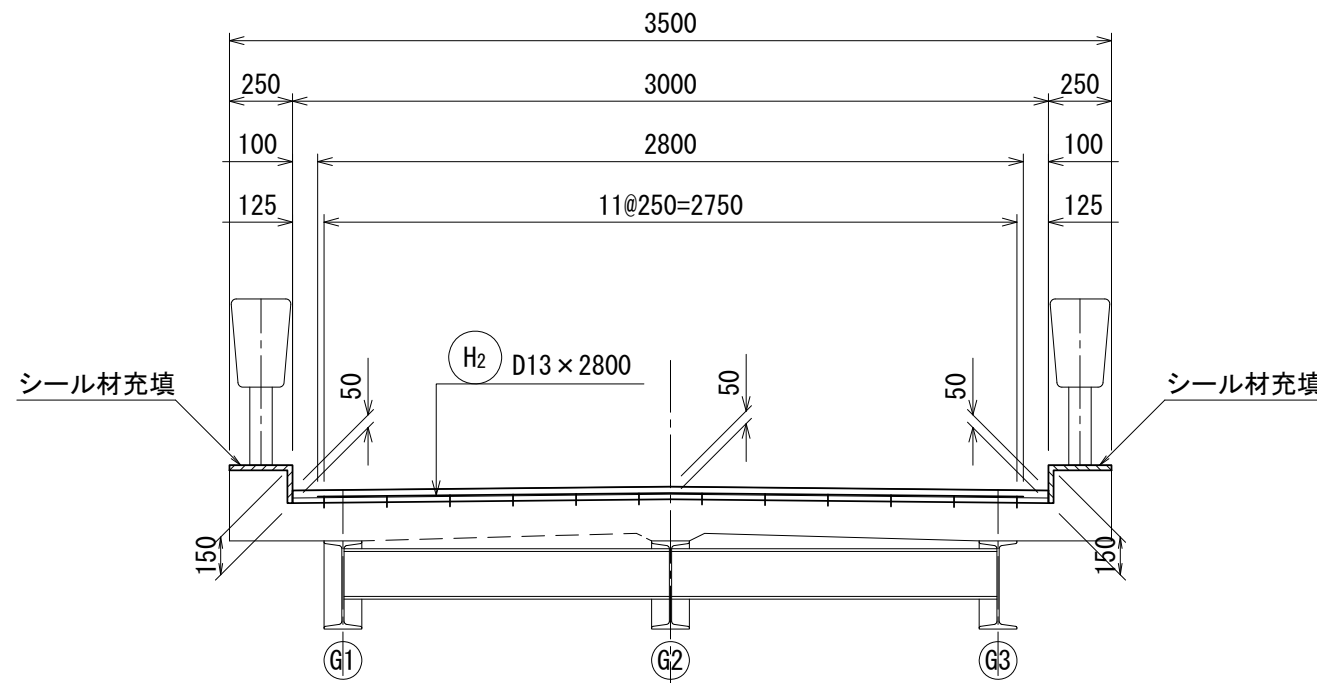
断面図

S=1:30

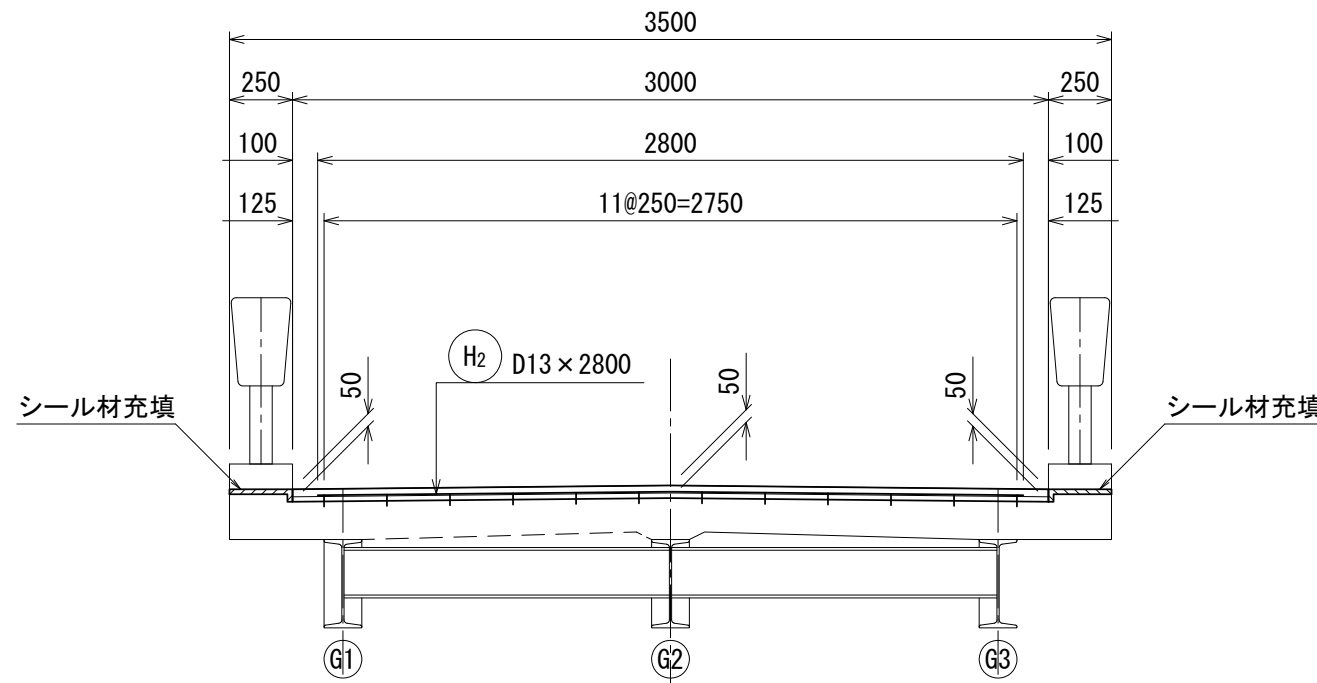
P1橋脚



P2橋脚



A2橋台



【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】

工事名 令和2年度 第2A1種002号 道路メンテナンス事業

図面名 頂間寺橋 橋梁修繕工事

年月日 修繕工詳細図(8)

尺度 図示 図面番号 10 業之内 9

会社名

事務所名 志摩市

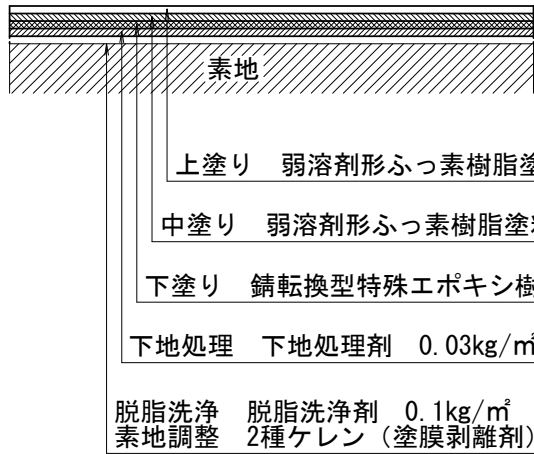
修繕工詳細図(9)

上部工塗装塗替え工

塗装塗替工詳細図

施工フローチャート

付着塩分測定 50mg/㎡未満を確認
※50mg/㎡以上あれば水洗いによる塩分除去
↓
準備工・養生
↓
塗膜剥離剤塗布
↓
塗膜除去
↓
素地調整 2種ケレン
↓
脱脂洗浄工 脱脂洗浄剤 0.1kg/㎡
↓
下地処理工 下地処理剤 0.03kg/㎡
※鉄部露出部のみ塗布 耐候性鋼の場合は0.06kg/㎡
↓
下塗り工 錆転換型特殊エポキシ樹脂系下塗り塗料 0.15kg/㎡
※支承、耐候性鋼の場合は0.25kg/㎡
↓
中塗り工 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗(はけ・ローラー) 0.14kg/㎡
↓
上塗り工 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗(はけ・ローラー) 0.12kg/㎡
片付け
↓
完了



塗装工程	仕 様	使用量	塗膜厚さ
1 塗膜除去	塗膜剥離剤	0.5kg/㎡・回	
2 素地調整	2種ケレン		
3 脱脂洗浄	脱脂洗浄剤	0.1kg/㎡	—
4 下地処理	下地処理剤	0.03kg/㎡	—
5 下塗り	錆転換型特殊エポキシ樹脂系下塗り塗料	0.15kg/㎡	70μm
6 中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.14kg/㎡	30μm
7 上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	0.12kg/㎡	25μm

① 仕様評価
※鋼道路橋防食便覧に則り公的機関（第三者機関）の手による（試験片作成～評価まで）
耐久性が明らかな他の防食法（従来工法）との比較試験（複合サイクル及びCASS試験）
の報告書を提出する事。
◎鋼道路橋防食便覧参照（左頁）
※中塗、上塗についてはJIS規格の製品を用いる事とする。
尚、中塗との密着評価については密着性証明を提出する事。

② 塗膜除去
※1 塗膜剥離剤は、既存塗膜調査・剥離試験を行い適用可否を確認すること。
※2 塗膜剥離剤1回塗布で塗膜が除去できない場合は、複数回施工により塗膜除去を行うこと。

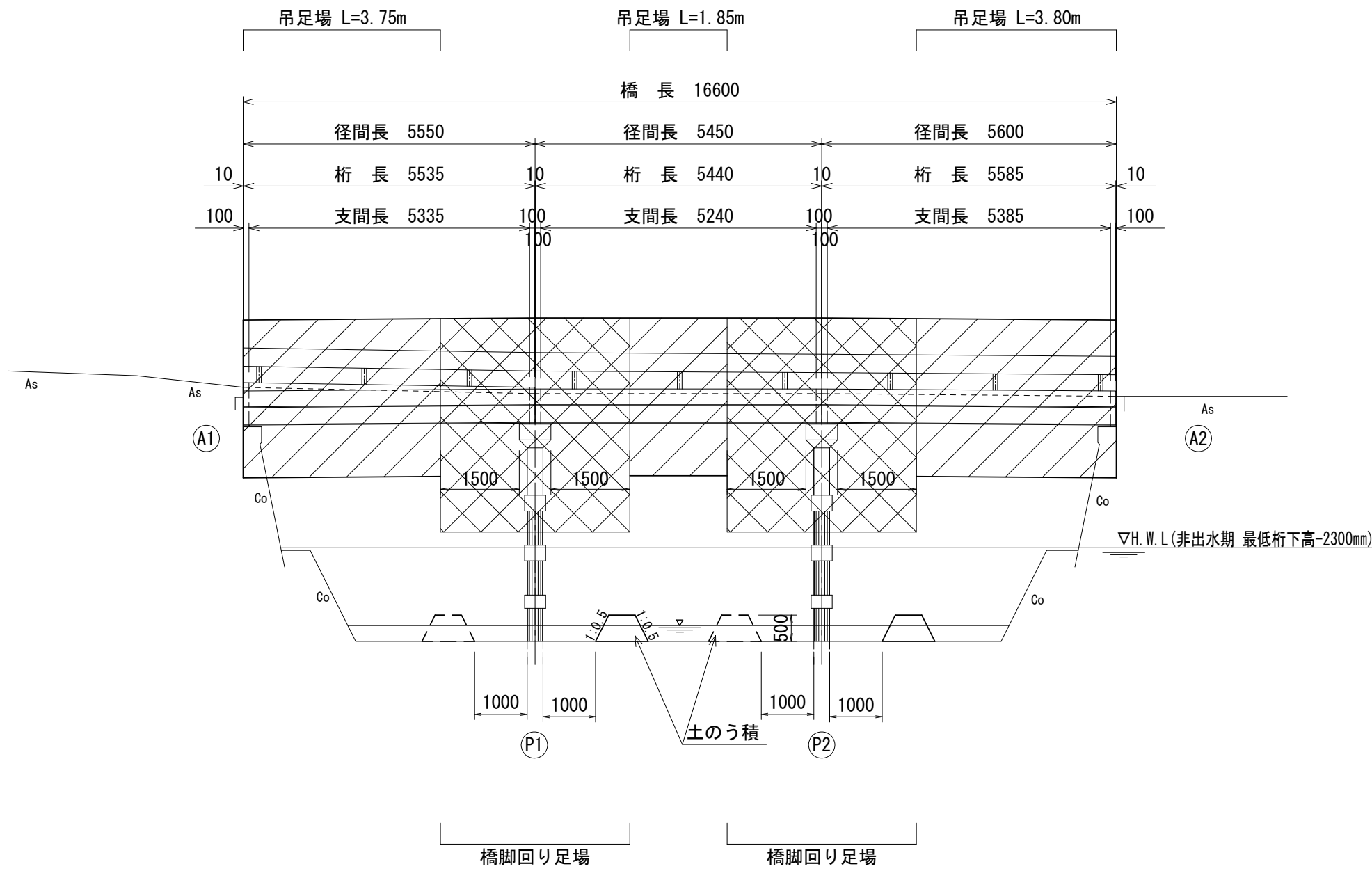
注記 1)：各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合においては、別途監督員と協議をすること。
2)：各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。
3)：各種修復においては、橋梁上に建設機械等の重量物の設置をとまう施工は行わないこと。
また、これによりがたい場合は別途監督員と協議すること。

【頂間寺橋（市道恵利原上所線 磯部町恵利原地内）】				
工 事 名	令和2年度 第2A1確002号 道路メンテナンス事業 頂間寺橋 橋梁修繕工事			
図 面 名	修繕工詳細図（9）			
年 月 日				
尺 度	図 示	図面番号	10	10 葉之内
会 社 名				
事務所名	志 摩 市			

仮設足場工 参考図

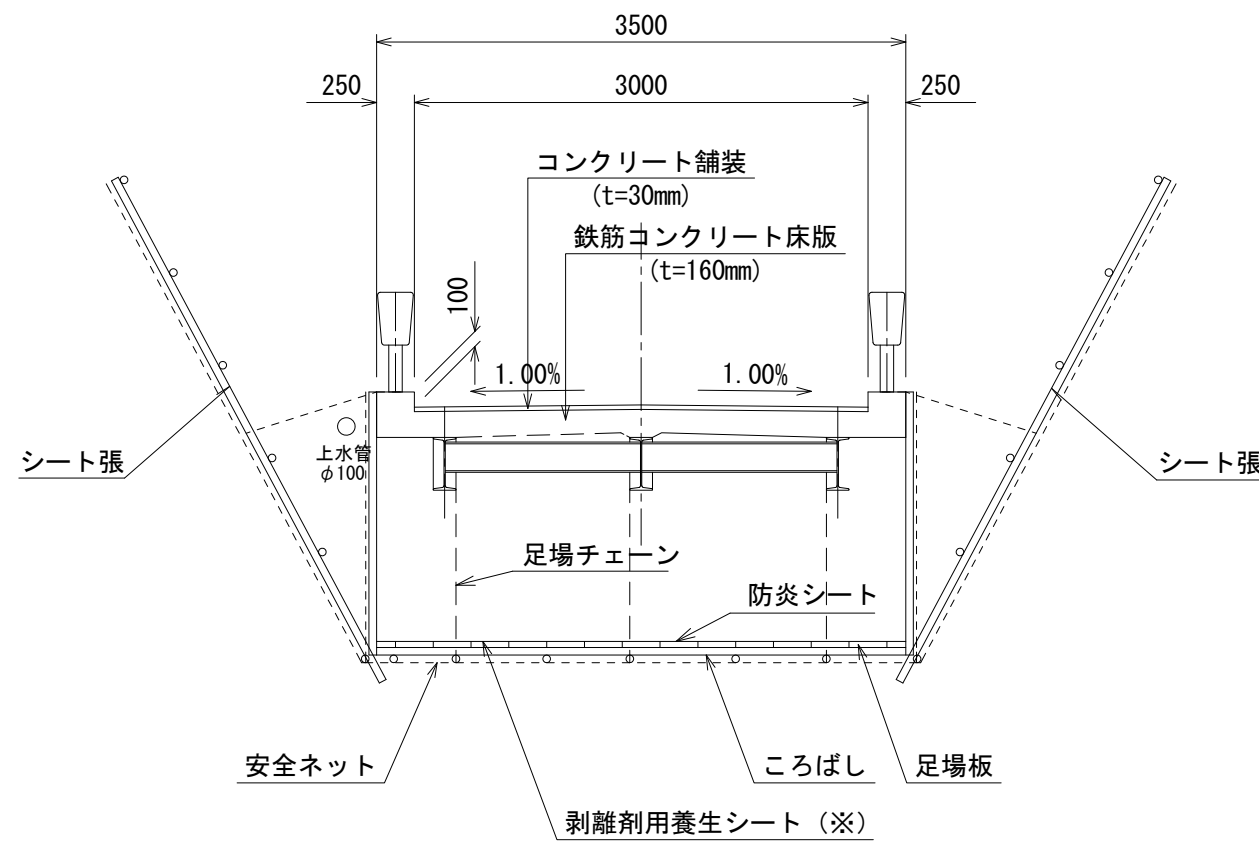
側面図

S=1:100



断面図

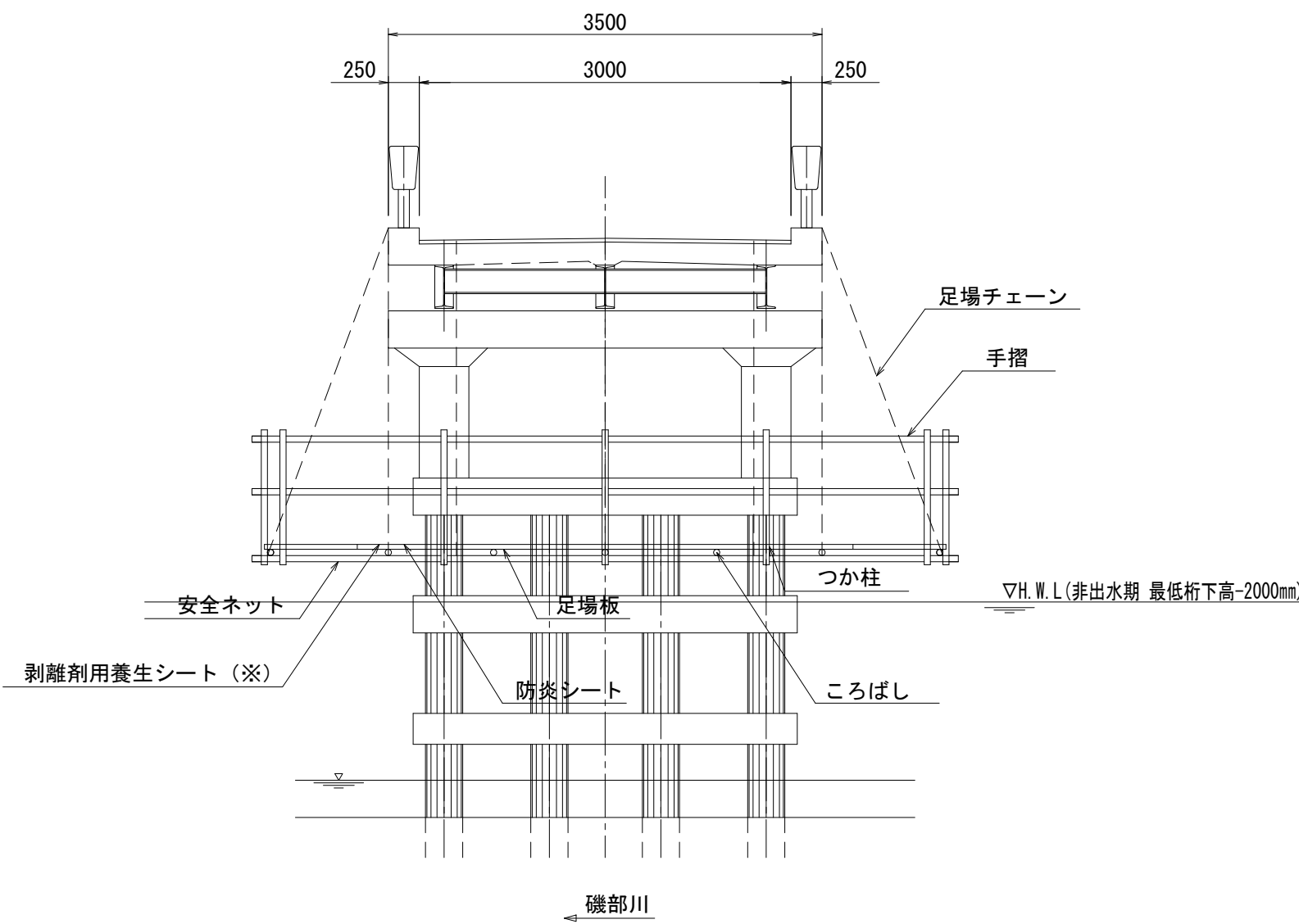
吊足場 S=1:50



※) 剥離剤養生シートは、剥離剤による塗膜除去作業時に設置する。

断面図

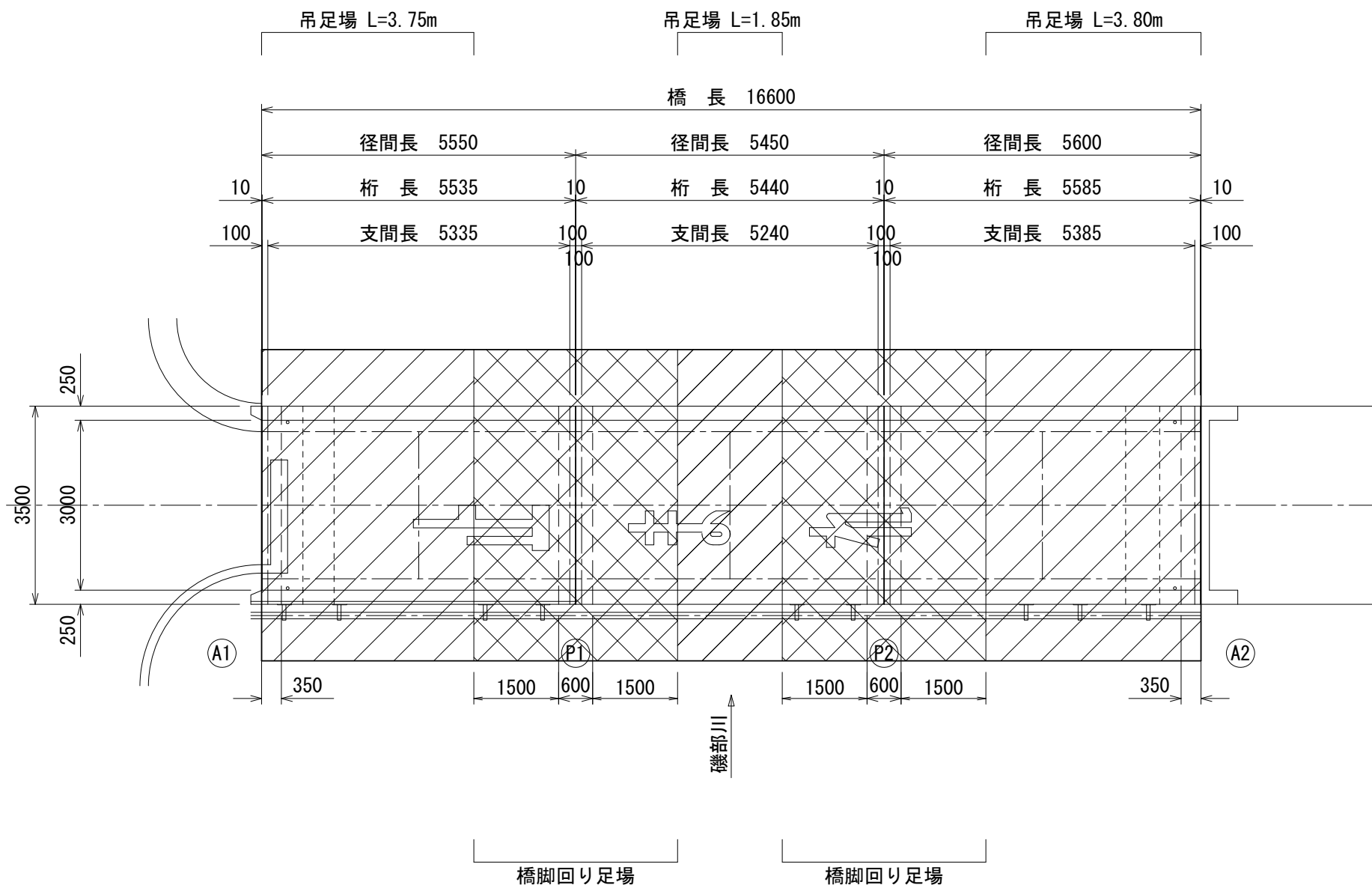
橋脚回り足場 S=1:50



※) 剥離剤養生シートは、剥離剤による塗膜除去作業時に設置する。

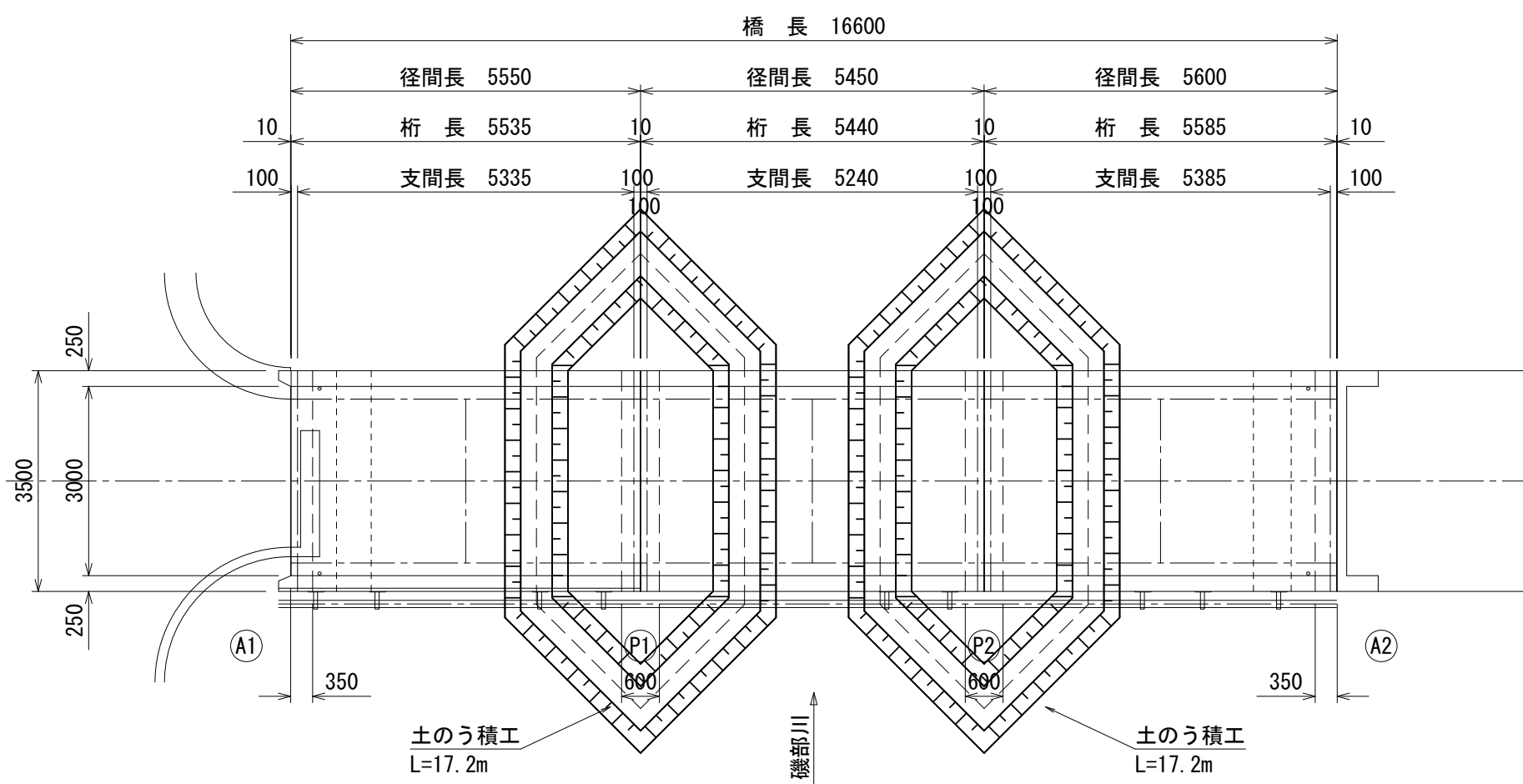
平面図

S=1:100



平面図

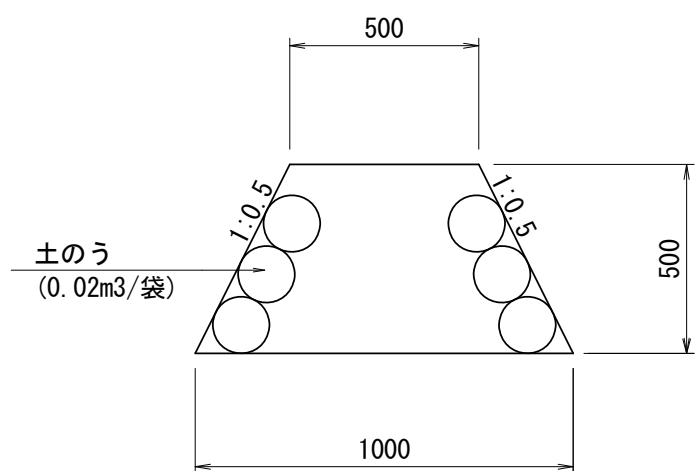
S=1:100



注記 1) : 施工時の安全を考慮し、P1橋脚とP2橋脚の施工時期をずらすこと。

土のう積詳細図

S=1:20



【頂間寺橋（市道恵利原上所線 礎部町恵利原地内）】

工事名 令和2年度 第2A1橋002号 道路メンテナンス事業

図面名 頂間寺橋 橋梁修繕工事

年 月 日

尺 度 図 示 図面番号 ー 業之内 ー

会 社 名

事務所名 志 摩 市